

2020年度

第17回

小学生のぼうさい探検隊
マップコンクール

入選作品集



2020年度

第17回

小学生のぼうさい探検隊 マップコンクール

CONTENTS

- 審査の様子..... 2p
- 審査基準および応募作品の傾向..... 3p
- 審査総評..... 4p
- 入選一覧..... 5p
- 入選作品紹介..... 6～30p
- 応募状況..... 31～33p
- 過去の入選作品..... 34～36p



「ぼうさい探検隊」とは…

子ども達が楽しみながらまちを探検し、まちにある防災・防犯・交通安全の施設や設備を発見してマップにまとめる活動のことです。マップ作成後は、発表を通して活動を振り返り、学んだことを皆で共有します。子ども達の「安心・安全への意識」が高まるだけでなく、まさに「地域ぐるみの安全“共有”」が着実に深まり、コミュニティの強化にもつながります。

主催 日本損害保険協会 / 朝日新聞社 / 日本災害救援ボランティアネットワーク

後援 内閣府 / 文部科学省 / 警察庁 / 消防庁 / 気象庁 / UNESCO / 日本ユネスコ国内委員会 / 日本ユネスコ協会連盟 / 全国都道府県教育委員会連合会 / 沖縄県 / アジア防災センター / 児童健全育成推進財団 / 日本損害保険代理業協会 / ボーイスカウト日本連盟 / ガールスカウト日本連盟 / NHK / 福岡県

ごあいさつ



皆さん、こんにちは。日本損害保険協会会長の広瀬と申します。「ぼうさい探検隊マップコンクール」の主催者を代表して、ご挨拶申し上げます。

はじめに、今回のコンクールに入賞された皆さん、おめでとうございます。私も皆さんの作品を拝見させていただいたのですが、どの作品も、身の回りの安全や安心についての気づきや学びが丁寧にとめられた素晴らしいものばかりで、本当に感心しました。

このような素晴らしい作品をまとめられた皆さんと表彰式の間で直接お会いできるのをとても楽しみにしていたのですが、新型コロナウイルスの感染が拡大していることを受けて、皆さんの安全を第一に考え、表彰式の開催は見送ることにしました。皆さんを晴れの舞台にお迎えできなかったことを、とても残念に思っています。

新型コロナウイルスの影響といえば、去年は、休校が相次ぎ、皆さん、学校で授業を受けることができない時期が長く続いたと聞いています。「ぼうさい探検隊」の取組みについても延期をしたり、中止せざるをえなかった学校や団体も多かったと思いますが、そのような中でも全国の小学校、児童館など307団体、のべ5,159人の小学生の皆さんにご参加いただき、960ものマップが集まったことに主催者として大変感謝しています。

今回のコンクールでは、このところ台風や大雨による災害が増えていることを受けてということだと思いますが、防災をテーマにした作品が全体の半数に上りました。過去に起きた災害の例や特徴をよく調べることで、地域の方々へ注意を促したり、市町村などの自治体に対して避難所や備蓄倉庫などの改善を要望した作品も数多くあり、皆さんの提案が、実際にまちの危険箇所の改善につながった事例もあったと聞いています。

また、今回初めて募集した、私ども協会のオリジナルタブレットを活用して作成した「デジタルマップ作品」もたくさんのご応募をいただきました。タブレットを使うことで「より気軽に、楽しんでマップ作りに取り組めた」との声もいただいております。

皆さんには、今回の受賞を誇りにしていただき、マップ作りで気づいたこと、学んだことを、是非、ご家族やお友達、そしてご近所の方々にも伝えてもらいたいと思います。皆さんが周りの人に伝えることで、地域に住んでいる方々が防災、防犯、交通安全をより意識し、より住みやすく暮らしやすいまちに繋がっていくと思います。

指導にあられた先生方、団体の皆様、そして保護者の皆様、「ぼうさい探検隊」の実施にあたり、ご支援・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。「ぼうさい探検隊」は、地域の防災力やコミュニティの向上につながる実践的な安全教育プログラムとして、回を重ねるごとに各方面から高い評価をいただいております。これほど多くの小学生が参加する全国規模のコンクールは、おそらく他に例がないと思います。これもひとえに、皆様方のご後援いただいている関係各府省庁、自治体、団体の皆様方、子ども達の取組みを見守っていただいた地域の皆様方など、多くの方々のご協力とご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

今後もこの活動が、安心で安全な地域社会づくりに貢献していくことを祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。誠にありがとうございました。

一般社団法人 日本損害保険協会
会長 ひろせ しんいち 広瀬 伸一

(2021年1月22日 主催者代表挨拶より)

審査の様子

2020年度のコンクールには、全国47都道府県の小学校や子ども会・児童館・少年消防クラブなど、307団体から5,159人の児童が参加し、960作品が寄せられました。第1回から第17回までの参加人数は、累計20万7千人を超えました。

審査員の方々から、「どの作品にもそれぞれ素晴らしい視点があって、甲乙つけがたい」「どの作品からも、児童と地域の方々との繋がりがひしひしと伝わってきて、選出がとても難しい」などの感想が寄せられました。

審査日程

事務局審査：2020年9月25日(金)～11月13日(金)

第一次審査：2020年11月18日(水)

本審査：2020年12月7日(月)

結果発表：2020年12月16日(水)

本審査の様子



本審査員

むろさき よしてる
室崎 益輝氏 神戸大学名誉教授・兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科長

もりもと しんや
森本 晋也氏 文部科学省 総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育調査官

もろとめ すくる
諸留 逸氏 内閣府 政策統括官(防災担当)付
参事官(普及啓発・連携担当)付 参事官補佐

ふじのきだいすけ
藤ノ木大祐氏 総務省消防庁 国民保護・防災部防災課 地域防災室 理事官

ほりお たか
堀尾 多香氏 文部科学省 国際統括官付(日本ユネスコ国内委員会事務局)
国際統括官補佐

さとう ゆたか
佐藤 豊氏 気象庁 総務部 企画課 地域防災企画室 室長

おおたに りゅう
大谷 隆氏 一般社団法人 日本損害保険代理業協会 特命部長

いしがみ かずよし
石神 和美氏 株式会社 朝日新聞社 CSR 推進部長

てらもと ひろのぶ
寺本 弘伸氏 認定NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク 常務理事

いとう ゆうじ
伊東 祐次氏 一般社団法人 日本損害保険協会 常務理事

審査基準および応募作品の傾向

審査基準

提案性(子どもの視点でのまちへの提案や、地域改善へ向けた気づき・提言)

- 子どもならではの発見やまちへの提言が書かれているか
- マップを通して伝えたいことが明確になっているか

教育効果性(子どもたちの防災・防犯・交通安全意識の変化、地域への愛着・関心の醸成)

- マップを作成するにあたり、しっかり地域を調べているか
- 地域住民とのコミュニケーションなどにより、多くの人から学んだ姿勢が見えるか

地域性・テーマ性(地域固有の災害特性や問題点、まちの様子や特徴)

- 地域の災害や危険な場所を想定した作品作りができているか
- 地域災害の特性や問題点などが明確になっているか

ビジュアル性(地図として見やすく、情報を簡潔に伝えるための工夫) ※紙作品のみ

- 色や写真、イラストを効果的に使用しているか
- 多くの人に見やすく、わかりやすい作品になっているか

専門家ならではの観点での評価 ※タブレット作品のみ

- 単に安全・危険だけでなく、写真の場所を説明するコメント(高い塀がある、信号機がない等)が記載されているか
- 実際に発見したものや場所を記載するだけでなく、コメント欄に発見したものや場所に対する子どもたちの感想や考え等と一緒に記載されているか
- 指導者が子どもたちの言動や思いをしっかりと把握し、作品紹介用紙に記入しているか

提案性

- 調査した箇所の「安全」や「危険」を子どもたちの言葉で表現している作品が多く、とくに「危ない」、「危険」、「注意」等の注意喚起を促す作品が多く見受けられた。
- 調査したことをなぞなぞやクイズ形式でマップに掲載して、マッ

- プを見てもらいやすいように工夫をしている作品が多く見受けられた。
- 避難所や避難訓練、備蓄倉庫等に関する改善を行政に要望する作品が多くあった。

教育効果性

- 調査した内容を表やグラフにまとめ、さらに、調査内容からわかったことについてマップを見た人にわかりやすく記述している作品が多くあった。
- 地域の人々にインタビューを実施した作品もあり、まちを探検しただけではわからないようなこともしっかりと学べているこ

- とが伝わる作品が多く見受けられた。
- 普段の生活で何気なく過ごしている地域(とくに通学路)でも、あらためて防災の視点で探検してみると新たな発見があった作品が多く、さらに、安全についての意識が高まったと感じている応募団体が多数あった。

地域性・テーマ性

【防災】

- 作品によって、地震や津波、洪水等の対象とする自然災害を特定し、その災害について調査することで、注意喚起や提案を行っている作品が多く見受けられた。
- 過去に発生した自然災害の被害状況やその災害を経験した人々の感想や行動を調査したうえで、今後の防災対策に役立てようとマップにまとめる作品が多く見受けられた。
- 災害発生時に想定される危険度や災害時の避難経路、避難所の場所等を色分けしたり、わかりやすいように印を付けたりと視覚的に工夫されている作品が多くあった。
- コロナウイルス対策を想定した提案を行っている作品もあった。

- 防犯への注意喚起として、「い・か・の・お・す・し」を紹介している作品が多くあった。

【交通安全】

【防犯】

- 子ども110番の家や死角となる場所を調べ、マップにまとめた作品が多くあった。
- 子ども達の日常生活に密着した通学路や学校周辺、公園等を調査し、さらに、防犯の視点で地域の人々にアンケートを実施し、その内容をまとめている作品が多く見受けられた。

- 交通量や交通事故が予想される場所を調べている作品が多く、さらに、交通量等の情報についてはグラフや表にして視覚的に伝える工夫がされている作品が多く見受けられた。
- 警察署の担当者や地域の人々へインタビューをすることで、通学路等の身の回りの交通安全についてあらためて考え、マップを見た人に「気をつけよう」、「注意しよう」と呼びかける作品が多くあった。
- 通学路周辺の交通対策として、安全ゾーンやカーブミラー、街灯等の設置を要望・提案している作品が多くあった。
- 交通安全への子どもと大人の意識や視点の違いについて、対話のようにまとめている作品もあった。

ビジュアル性

- 調査内容をグラフや表にしたり、「安全・危険」や「防災・防犯・交通安全」等の内容の違いを色分けしたり、写真だけでなくイラストを描く等によって、視覚的にマップを見た人に内容が伝わるように工夫している作品が多数あった。
- 調査内容や感想、インタビューの内容等を付箋に書いて貼ってい

- る作品が多く、さらに、色違いの付箋を使うことでそれぞれのコメントの内容が異なっていることを表現している。
- 文字で内容を伝えるだけでなく、マップに貼られた紙を折りたたみ、開くと追加の内容がわかるようにする等、マップを楽しく見てもらえる仕掛けがなされた作品が多かった。

審査総評



審査員長

むろ さき よし てる
室崎 益輝 氏

神戸大学 名誉教授

兵庫県立大学

大学院減災復興政策研究科長

今年は、新型コロナウイルスの影響から、小学生の皆さんが外に出て、地域の方と対話しながらマップを作ることをしづらい状況だったと思います。作品数も、昨年より半分程度に減ってしまいましたが、それでも多くの皆さんに積極的に、この『ぼうさい探検隊マップコンクール』に取り組んでいただけたことで、素晴らしい作品が寄せられたと思います。数は減りましたが、作品の質、レベルは今までと同じか、それ以上に素晴らしいものが寄せられたと思っています。次から次へと豪雨災害が起こり、新型コロナウイルスが蔓延する中、現代の危機を体で感じた上での作品の提案があったことで、新しい視点からのマップが提出されているといったことに尽きるのではないかと考えています。作品が減った部分を、内容で大きくカバーした素晴らしい作品が集まり、その中からさらに素晴らしい入賞作品を選ぶことができたと思っています。

三重県の北川家の作品は、現代の災害のリスクに真正面から向き合い、避難の在り方、避難所、避難ルートの問題点を、多様な角度から明らかにした作品だと思います。その背景にあるのは、非常に地道な学習であり、例えば避難ルートが本当に安全か、木が倒れて通行不可能にならないか、木が倒れる場所はどこかを、それぞれの土地の土を持ってきて、そこに木に見立てた割り箸を立て、倒れやすいかどうかを実験で検証しています。また、今の日本の避難所はこのままでいいのかといった避難所の在り方について、海外の優れた避難所のシステムを調べ、キッチンカーが来ることや、トイレが豊かにあることなどの事例を踏まえて、提言しているところも素晴らしいと思います。さらに、コロナ禍で避難生活がどう変わるのか、避難所の在り方についても明らかにすることで、新しい問題に積極的に取り組んだところが評価される作品だと思います。

愛媛県の宇和島市立三浦小学校の作品の背景にあるのは、2018年の西日本豪雨災害で、みかん畑が各所で崩壊し、大きな被害が出ているということです。みかん農家が被害を受けることによって地域の経済が破綻するといった経験に基づいて作られていると思います。災害と産業を、表裏一体の関係で捉え、災害だけではなく経済にどう影響するかという視点で捉えているところが一番高く評価できるところだと思います。さらに、避難所や避難ルートなど、非常に丹念に一つ一つの農道について調べているところも評価できる作品だと思います。

北海道の札幌南区川沿少年消防クラブの作品は、少年消防クラブの仲間達が調査をして作り上げており、その努力がいろいろな形で成果として現れているように思います。一番優れているところは、水害の危険性を捉えるのに、土地の高低差を地域の断面図で表すことによって、河川が氾濫したときに浸水するか、その場合の浸水の深さ、避難場所の安全性について、断面的に表現したところが非常に優れた作品だと思います。また、最近の気象警報における避難勧告や避難指示のレベル、どのタイミングで避難するべきかなど、避難ルートの原理についても詳しく調べたり、実際に車の中に避難をして、寝る場所が十分かどうかまでを検討し、車中泊の可能性を明らかにしているところも評価できると思います。

福島県の相馬市川原町児童センターの作品は、防災の国際化というものに通じる非常に優れた作品だと思います。避難は日本人だけの問題ではなく、地域の外国人の問題でもあります。そういう人達

が災害時に、日本語の案内板しかない中で取り残されてしまうのではなく、一緒に避難して命を守らないといけないという思いで作られた作品です。この作品を作るにあたっては、児童が英語の勉強をしっかりと、英語で外国人にヒアリングやアンケートを行い、避難の案内文を作ることで、外国人に思いをはせるだけでなく、国際的な感覚を身に付ける努力をした作品として評価されると思います。

東京都の足立区立西新井小学校の作品は、異常気象下における豪雨災害のリスクを真正面から取り上げた作品だと思います。特に大都市での水害危険は、リスクを過小評価してしまうことが多いのですが、その油断に対して警告を発する意味でもとてもいい作品だと思います。最近の日本全体で起きた多くの水害の被災地の教訓を調べて、明らかにした上で、東京都の荒川流域でも大きな被害が起こりうるのだということを具体的に示しているところが、評価できると思います。また、指定された避難所だけでは全ての人が避難しきれないので、その他に避難できる場所を、地域で見つけ、可能性のある避難場所の安全性を検討したところもとても重要な価値を持っていると思います。

岡山県の岡山市立宇野小学校 原尾島チームの作品は、2018年の西日本豪雨で大きな被害を受けた地域の児童が取り組んだものです。この作品の特徴の一つは、大きな水害が起きて、そこでの欠陥を2年間で改善できたのかをしっかりと検証し、まだ改善されていない部分やそのまま放置されているといったように、改善されたところと改善されていないところを明らかにし、どういう対策を講じるべきかといった提案をしているところです。もう一つは、大量の水が来ることを想定し、お風呂に水をためてその中を歩けるか、どんな力がかかってくるのかなど、実験と検証を組み合わせているところも評価されることだと思います。

北海道の奥尻町立青苗小学校の作品は、過去に北海道南西沖地震が起きたことで、大きな津波に襲われてたくさんの方が亡くなった地域の児童が作っています。必死に命を守った人から、高台を目指して坂を上げろというメッセージを込めて「あの坂へいそげ」という一つの教訓を導き出しましたが、過去の教訓となるため、子ども達にとってそれはどういう意味を持っているのか、わが事の体験として検証するために、今大きな津波が来たら、どの坂を登って高台に行くべきかということを実験することで、そのルートの安全性を確かめた作品です。現代のわが事として教訓を再認識したという意味では、とても大切な作品だと思います。

沖縄県の浦添市立宮城ヶ原児童センターの作品は、コロナ禍において災害時の避難はどうあるべきかについて取り組んだものです。コロナ禍では今までの避難対策は通用しないと考え、防災と感染症対策の二つの観点から避難の常識を変えようというのが全体のメッセージとなっています。より多くの情報を得るために、アンケート調査や地域の人々と一緒に感染症対策を講じた地域の避難所作りなどに取り組み、避難所や避難対策の在り方を検討しているところが、高く評価されるものです。

福井県の小浜市立雲浜小学校の作品は、児童が力を合わせ、三つの観点からマップを作っています。一つ目は江戸時代前後の小浜城の歴史や戦後間もなく大きな台風で水害を受けた歴史を調べていること。二つ目は、避難所までの距離と時間を歩いて計り、すぐにたどり着ける所と時間がかかる所を色分けをして表現したこと。三つ目は、避難時や登下校時の安全のため、ルール作りをしたことです。一列で避難する、おしゃべりをしないで避難する、ボランティアの人たちに感謝しようなど、共通ルールをつくり上げていることも評価されると思います。

入選一覧

● 文部科学大臣賞

北川家
「北川ブラザーズ」(6年生/三重県)

● 防災担当大臣賞

愛媛県宇和島市立三浦小学校
「防災キッズ ファイブスター」(3、4年生/愛媛県)

● 消防庁長官賞

北海道札幌南区川沿少年消防クラブ
「川沿未来レスキュー隊」(2~6年生/北海道)

● まちのぼうさいキッズ賞

福島県相馬市川原町児童センター
「みつばち防災探検隊」(3年生/福島県)

● 気象庁長官賞

東京都足立区立西新井小学校
「西新井小学校」(5年生/東京都)

● キッズリスクアドバイザー賞

岡山県岡山市立宇野小学校 原尾島チーム
「岡山市立宇野小学校 原尾島チーム」
(4、6年生、中学2年生/岡山県)

● 未来へのまちづくり賞

北海道奥尻町立青苗小学校
「奥尻町 青苗小3・4年 ぼうさいキッズ」(3、4年生/北海道)

● わがまち再発見賞

沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター
「スマイルフラワー」(5、6年生/沖縄県)

● ぼうさい探検隊賞

福井県小浜市立雲浜小学校
「雲浜防災マップ作り隊」(3年生/福井県)

● 審査員特別賞

中里放課後子ども教室
「中里放課後子ども教室」(4年生/岩手県)

西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ
「こすもす探検隊」(4年生/福島県)

公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ
「向丘小学校わくわくプラザ 子どもリーダー」
(1~3、5年生/神奈川県)

ガールスカウト山口県第3団
「ガールスカウト山口県第3団ブラウニー(3年生)」
(3年生/山口県)

愛媛県愛南町立船越小学校
「船越防災隊」(3、4、6年生/愛媛県)

高知県佐川町立斗賀野小学校
「犠牲者なくそう防災チーム」(6年生/高知県)

社会福祉法人 愛育福祉会 こぼと児童クラブ
「こぼと探検隊」(2年生/宮崎県)

豊崎学童クラブ
「豊見城安全守りたい」(1~4年生/沖縄県)

● デジタルチャレンジ賞

加美消防署西部分署
「どどんこぱっく」(5年生/宮城県)

ガールスカウト神奈川県第53団
「GS KANAGAWA 53」
(3~6年生、中学1年生/神奈川県)

鳥羽市安楽島子ども会
「安楽島キッズ探検隊」(1~6年生/三重県)

徳島県阿南市立橘小学校
「ぼうさいさんぽ3班」(3年生/徳島県)

豊見城市なないろ児童クラブ
「なないろキングス」(3年生/沖縄県)





文部科学大臣賞

三重県

きたがわけ

北川家「北川ブラザーズ」

学年	6年生	人数	2人	防災
----	-----	----	----	----

安全な避難方法を探せ!

With コロナ ~みんなのために~

本当に安心できる避難方法は何なのか?
 ハザードマップでは海抜が10m以上なら、
 避難先で起こった地震でも大丈夫か? いる地域で
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?

10m以上の海抜は安全か?
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?

避難先が2つある場合はどちらが安全か?
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?

避難先が1つしかない場合はどうするか?
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?

避難先が2つある場合はどちらが安全か?
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?

避難先が1つしかない場合はどうするか?
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?

避難先が2つある場合はどちらが安全か?
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?

避難先が1つしかない場合はどうするか?
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?

避難先が2つある場合はどちらが安全か?
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?

避難先が1つしかない場合はどうするか?
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?

避難先が2つある場合はどちらが安全か?
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?

避難先が1つしかない場合はどうするか?
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?

避難先が2つある場合はどちらが安全か?
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?

避難先が1つしかない場合はどうするか?
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?

避難先が2つある場合はどちらが安全か?
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?

避難先が1つしかない場合はどうするか?
 ① 避難先が2つある場合はどちらが安全か? ② 避難先が1つしかない場合はどうするか? ③ 避難先が1つしかない場合はどうするか?



Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

コロナ禍での避難に不安があったので一生懸命に調べました。調べた内容をわかりやすくマップにすることに苦労し、正直書くことが辛くなることもありましたが、しかし文部科学大臣賞の受賞の知らせを聞いた時はとても嬉しく、努力の甲斐がありました。

指導された北川 朋央 さん

子ども達と一緒に取り組み、二年連続受賞にただ感無量です。まち探検時に子どもからでた意見や疑問を子ども達が自分事として探究できたことがよかったです。防災の答えは一つではないので今後も子ども達と共に防災力を高めたいです。

評価されたポイント

提案性

コロナ禍で避難所が不足すると考え、他に避難できる場所がないかを調べ、マップに示している。また、まち歩きを通して井戸が複数あることに気づき、防災井戸として登録してもらえるように市役所へ要望している。

教育効果性

ハザードマップや過去に起こった災害、インタビューから、自分たちなりの津波の浸水高を予想し、避難する海拔を示している。また、避難ルートの木が倒れてこないかを調べるために、それぞれの土を集め、わり箸を木に見立て実験するなど、深く学習していることがうかがえる。

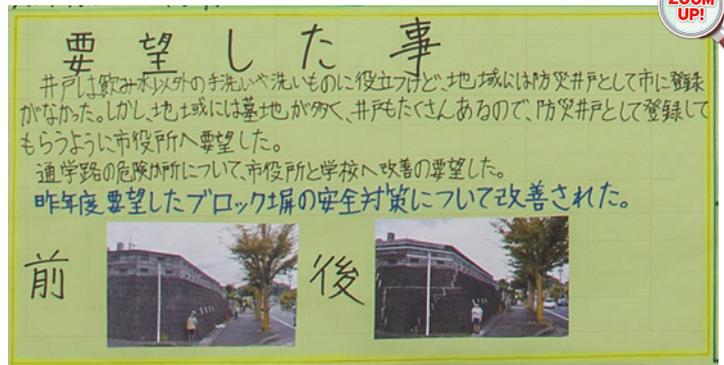
地域性・テーマ性

津波からの安全な避難場所をテーマにしているが、コロナ禍における避難所運営の方法という素朴な疑問にも取り組んでいる。また、イタリアの避難所についてまとめるなど幅広い視点から学習を行った一歩踏み込んだ作品となっている。

ビジュアル性

海拔10m未満を水色にしたり、マップの下に断面図を添えることでどれくらいの高低差があるか視覚的にわかるように工夫している。また、地図と調べた内容を半分ずつに配置することで、わかりやすく整理された作品となっている。

ZOOM UP!



ZOOM UP!

避難ルート
道沿いにある木は安全か？
地域には道沿いにある木がいっぱいある。昔の航空写真を調べると、もともと山だったのが木が少なくなり、山と雨の関係について調べると、山には黒い土と黄土色の土があり、土砂災害が起きやすいのは黄土色の土の方であると分かった。そこで、それが本当かどうか実験する。

実験方法
1. 地域にある山の黒い土と黄土色の土をとる。
2. その土に割り箸を立て、段ボールを叩いて箸が倒れた時間を測定する。

回数	倒れた方	倒れた時間
1	黄土色の土	2.3秒
2	同上	10秒
3	同上	15秒

考察
黄土色の土にある木は、3回とも倒れたので、土砂災害が起こりやすいと確信できた。
黒い土はじめとしていたが、黄土色の土はパカパカで、運動場の土と似ている。運動場は水はけが悪いので、黄土色の土にある木は育ちが悪いので倒れやすいと思った。

地震の時
黄土色の土にある木
↓
倒れる可能性が高い
↓
避難ルートにしない

結果	A	B	C D	E	F
土の色	 黒	 黄土	 黄土	 黄土	 黄土
判定	安全	危険	危険	危険	危険

ZOOM UP!

コロナ禍での津市の避難生活はどのような？
コロナ禍での避難所の対策を市役所へ質問した。

Q1. 人数制限はあるのか
半分程度の定員にしている。避難所では、避難者同士(世帯)の間隔は2m程度の距離を取るようになっている。

Q2. 定員がオーバーしたら、別の避難所へ行くのか
避難所で収容しきれなくなった場合、同一敷地内にある施設や最寄りの避難所を開設するなど指定避難所/2箇所を最大限活用する。それでも指定避難所がいっぱいになったら、それ以外の施設や県の施設等へ移動する。

Q3. 感染予防対策はどうか
避難者同士の間隔を2m程度確保するために、できる限り広い空間の確保をすること、段ボール間仕切り等を購入し、各指定避難所に備蓄しているマスクや消毒液も備蓄している。体調不良者が発生した場合に備え専用スペースを確保しているが、専用スペースを確保できない避難所については、プライベートテントを配備する。
また、体調不良者等には寝る時に顔をおう飛沫遮断用カバーのついた段ボールベッドを必要に応じて使用する。



防災担当大臣賞

愛媛県

愛媛県宇和島市立三浦小学校 「防災キッズ ファイブスター」

学年	3、4年生	人数	5人	防災
----	-------	----	----	----



Voice

喜びの声

チームの児童のみなさん

賞に選ばれて、とてもうれしいです。調査やマップ作りは大変だったけれど、避難路や避難場所のことがわかってよかったです。このマップが、いざというとき地域のみなさんの役に立って、命を守ることができたらいいなと思います。

指導された 池田 幸恵 さん

コロナ禍にもかかわらず、児童の活動に快く協力して下さった地域のみなさんのおかげで、マップを完成させることができました。児童の気づきや提案が、少しでも地域の防災力の向上につながればうれしく思います。

評価されたポイント

提案性

避難場所への登り口をわかりやすくするため「津波一時避難場所」の看板の設置や、みかん山のモノレールを手すりにして高台に避難することなどを提案している。

教育効果性

「防災」と「地域産業」を関連付け、「みかん山で働いているときに地震が起きたらどう行動するか」という子ども達にとって身近な疑問と対策を考え、声をかけあうことや車のラジオをかけておくといったことに気づいている。

地域性・テーマ性

南海トラフ地震では6～7mの津波が想定されており、水災では過去西日本豪雨で大きな被害があった地域でもある。地域の立地や地形を考慮して、津波被害と豪雨災害を想定した防災対策全般が考慮されたマップとなっている。

ビジュアル性

地域特産のみかんを軸にした子どもらしいデザインである。マップの周りに発見のポイントや調べたことをレイアウトしている。目立たせたい場所に豆電球のアイコンを使ったり、避難場所ごとに海拔や避難時間・経路を示すなどわかりやすくまとまっている。





消防庁長官賞

北海道

北海道札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来レスキュー隊」

学年

2～6年生

人数

15人

防災

あなたの命を守る場所は、どこですか？

川沿少年消防クラブ

この図は、川沿少年消防クラブのメンバーが作成した防災マップです。中心には川沿いの地域が描かれ、洪水、土砂災害、避難場所などの危険性と安全な場所が色で区別されています。また、川の断面図や避難経路の案内も含まれています。周囲には、防災に関する様々な質問と回答が記載されており、地域住民への啓発活動の一環として作成されたことが伺えます。

Voice

喜びの声

チームの児童のみなさん

すばらしい賞をいただけて光栄です。色々な状況での災害時に、命を守るにはどうしたらいいかを考えようという事から、今回のマップを作りました。ふだんからこのマップを見てもらって、役立ててもらえたらうれしいです。

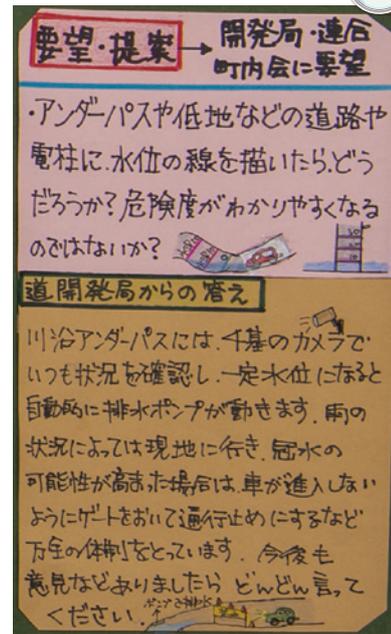
指導された 井上 昌幸 さん

いつもとは違う状況での作成となり、新しい試みが多い年でした。子ども達も異なる環境の中、それぞれが知恵を出し合い協力して完成させ、受賞できました事は、今後活かされる事と思います。ありがとうございました。

評価されたポイント

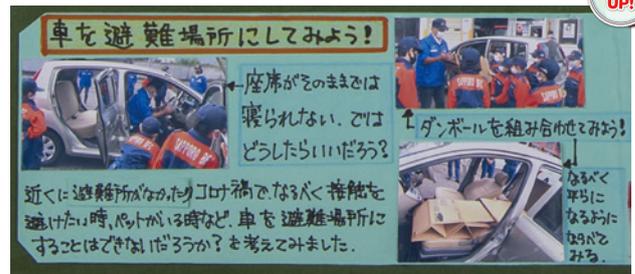
提案性

電柱に矢印をつけることで避難所までの経路をわかりやすくする、アンダーパスや低地の電柱に浸水高の線を描き危険度を示すといった子どもならではの具体的な提案をマップに記載し、北海道開発局や連合町内会に要望・提案している。



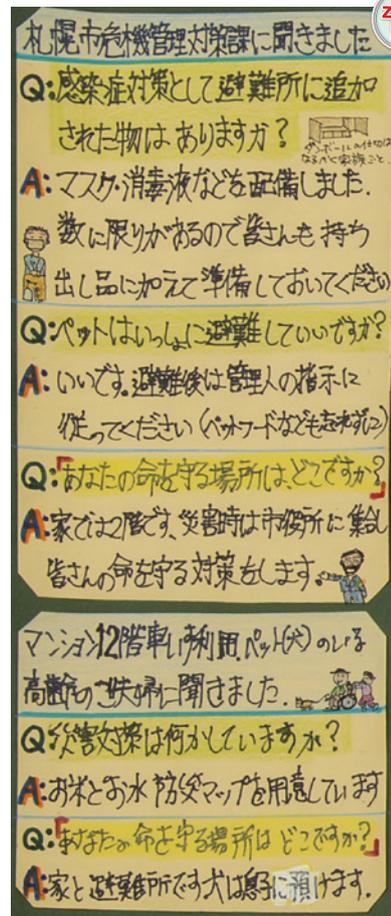
教育効果性

市の危機管理対策課や、マンションの高層階に住む高齢の夫婦などへインタビューを行い、住んでいる場所や住まいによって、安全な避難場所が異なることを学んでいる。また、車中避難体験を実施し、その際の工夫点などをあげている。



地域性・テーマ性

高齢者比率が高いこと、高低差のある地域であることなど、地域性を理解し、近年多くなってきている水害や土砂災害をテーマにしている。避難所以外にも命を守れる場所を、地域全体で考えてもらうことを意識している。



ビジュアル性

インタビューや提案、写真を取り入れながら、危険な場所と避難所の位置をわかりやすく表現した平面図と、高低差を表現した断面図の組み合わせにより、地形的な災害の危険性を一目で視覚的にわかるよう工夫している。



まちのぼうさいキッズ賞

(日本ユネスコ国内委員会会長賞)

福島県

福島県相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」

学年	3年生	人数	10人	防災
----	-----	----	-----	----



Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

今回は英語でのマップ作りに挑戦しました。英語はとても難しかったけれど先生と一緒に調べながら取り組みました。今回のマップが外国の方々の役に立てば良いなと思っています。素晴らしい賞をいただくことができ嬉しいです。

指導された 和田 しおり さん

実際に相馬に住む外国の方が困っているのを耳にし、自分たちに何かできることはないかと考え英語のマップ作りをしました。国境を越えて“共に生きる”大切さを学ぶことができました。素敵な賞を頂いたことに心から感謝します。

評価されたポイント

提案性

外国人の視点から学んだことを英語でも表現することで、外国人向け防災マップの必要性を訴えている。「Jアラートの放送は、英語でも流してもらえると助かる」などといった、外国人の立場に立った提言も取り入れたマップとなっている。

教育効果性

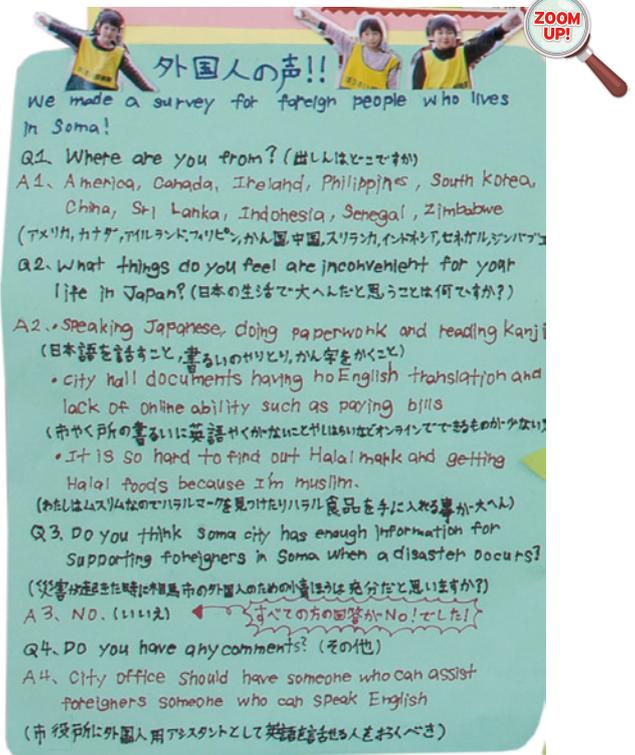
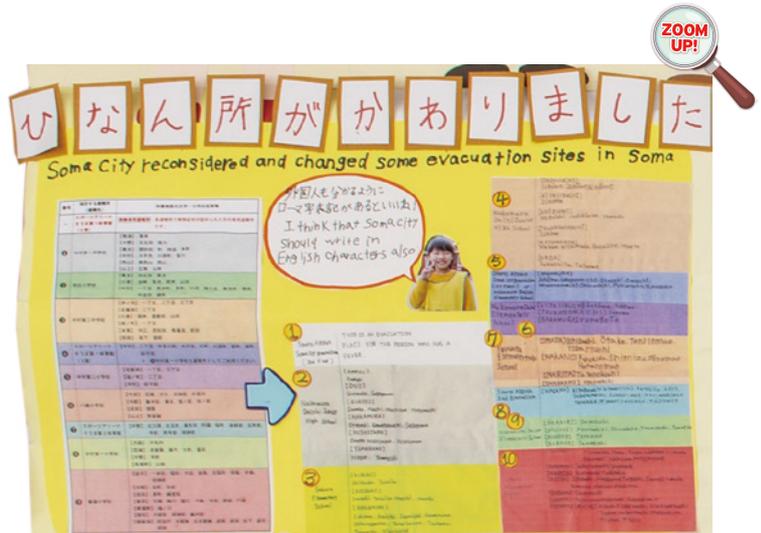
外国人へのアンケートや、警察署を訪問して外国人への対応方法を取材するなどの調べ学習を通じたマップ作成を行っている。日本人、外国人の区別なく地域全体の命を守るということに気づいたことがうかがえる。

地域性・テーマ性

特にイスラムの方に焦点を当て、ハラールなど彼ら自身の文化を理解することにまで踏み込んだマップを作成することで、外国人の方も含めた地域全体のコミュニケーションを促進するような内容となっている。

ビジュアル性

中央のシンプルで見やすい地図に、人型のアイコンや避難所、同報無線の位置をわかりやすく配置し、インタビューや取材内容を日本語と英語で表記するなど日本人、外国人の区別なく視覚的に理解できるようなマップを作成している。





気象庁長官賞

東京都

にしあらい 東京都足立区立西新井小学校「西新井小学校」

学年	5年生	人数	13人	防災
----	-----	----	-----	----

Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

西新井小学校では5年生になると防災学習を行っています。先輩方が作った防災マップを参考に今年は水害をテーマにしたマップをつくりました。賞をいただくことができ、とてもうれしいです。

指導された 榎本 日月 さん

西新井小学校付近は、荒川が氾濫した場合、3メートル以上浸水するといわれています。学習を通して以前より危機感をもつことができたと思います。被災地の方や地域の方から学んだこともマップに掲載し、一人でも多くの命を救いたいです。

評価されたポイント

提案性

地域特有の水害危険を把握し、浸水や大雨のときに命を守ってくれる場所が、避難場所以外にないかを調べる一方、風水害の被害を受けた他県の市町にインタビューを行い避難の重要性を学び、区の防災課等、各所へ要望を行っている。

教育効果性

まち歩きを通じて学んだ水害の危険箇所や避難場所を写真付きでわかりやすく表現している。また、ハザードマップやマイ・タイムラインの考え方を取り入れるなど、さまざまな観点から自分事として学習できていることがわかる。

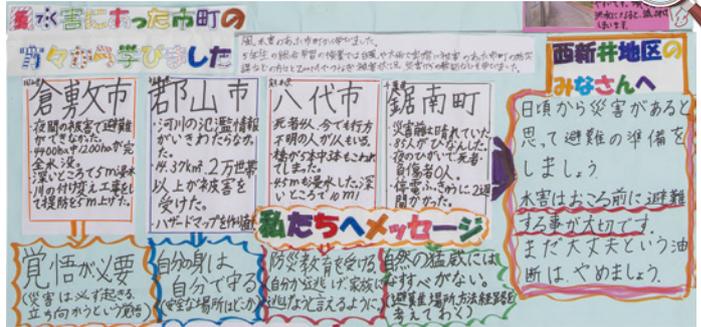
地域性・テーマ性

昨年、子ども達の小学校が台風で避難所となった経験から、川の決壊により水没するリスクがあることや、住宅が密集しており、高齢者も多い地域特性から、避難に遅れたり、自力避難が難しい住民がいることにも着目している。

ビジュアル性

地図に色分けしたシールをはることで、避難できる場所や、避難所ではないが一時的に身を守れる場所などを示したり、数字で見てもらいたい順番を示すなど、わかりやすく伝える工夫をしている。

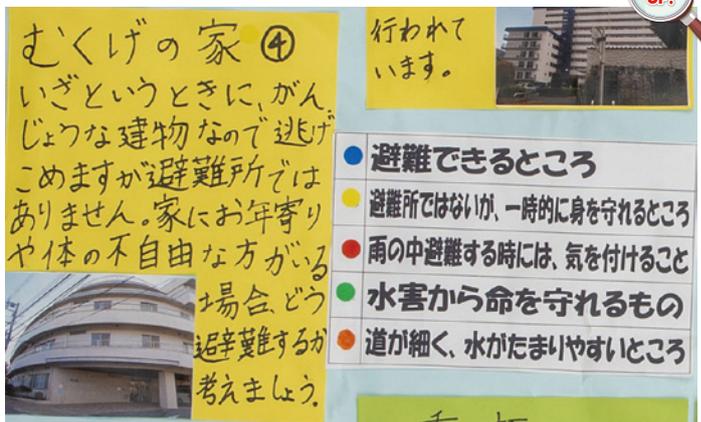
ZOOM UP!



ZOOM UP!



ZOOM UP!





キッズリスクアドバイザー賞

(日本損害保険代理業協会賞)

はら お しま

岡山県

岡山県岡山市立宇野小学校 原尾島チーム 「岡山市立宇野小学校 原尾島チーム」

学年	4、6年生 中学2年生	人数	3人	防災
----	-------------	----	----	----



Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

2年続けて素晴らしい賞を受賞できて本当に嬉しいです。今回のマップは昨年受賞した作品を基に皆さんに知って欲しい知識を沢山追加しました。マップの作成中には兄妹で色々とうざうざしましたが、頑張って本当に良かったです。

指導された 成広 由衣さん

父に弟達の指導をする様に言われ嫌々指導しましたが、まさかこんな凄い賞をもらえるとは思っていませんでした。私達姉弟は被災体験から災害が身近な存在だと知っています。このマップが災害対策に少しでも役立てば幸いです。

評価されたポイント

提案性

地域の水害対策を調べ、過去の水災後にとられた対策を示す一方、柵がなく水没した時に境目がわからなくなる危険な個所や、河原の公園の復旧など、子どもならではの視点で町内会長へ提言している。

教育効果性

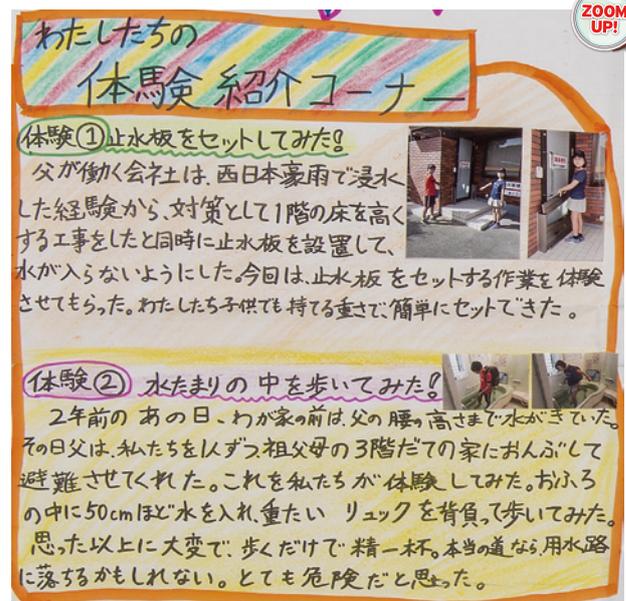
内水氾濫と外水氾濫の違いをわかりやすく図で示し、被害を想定しながら、今後起こるかもしれない災害と対策が考えられた作品となっている。止水板設置や水中歩行などの体験を紹介し、事前対策や早めの避難の大切さも学んでいる。

地域性・テーマ性

2年前の西日本豪雨による水災の経験からまち歩きを行い、自分たちの住む地域に水災が起こると被害が大きくなることを、子ども達が認識していることがわかる作品となっている。

ビジュアル性

地図、体験、調べた部分のそれぞれがわかりやすくレイアウトされている。平常時の写真と水害発生時の写真を対比させることで、自分たちの生活がどのように変化してしまうかを視覚的にわかりやすく表現している。





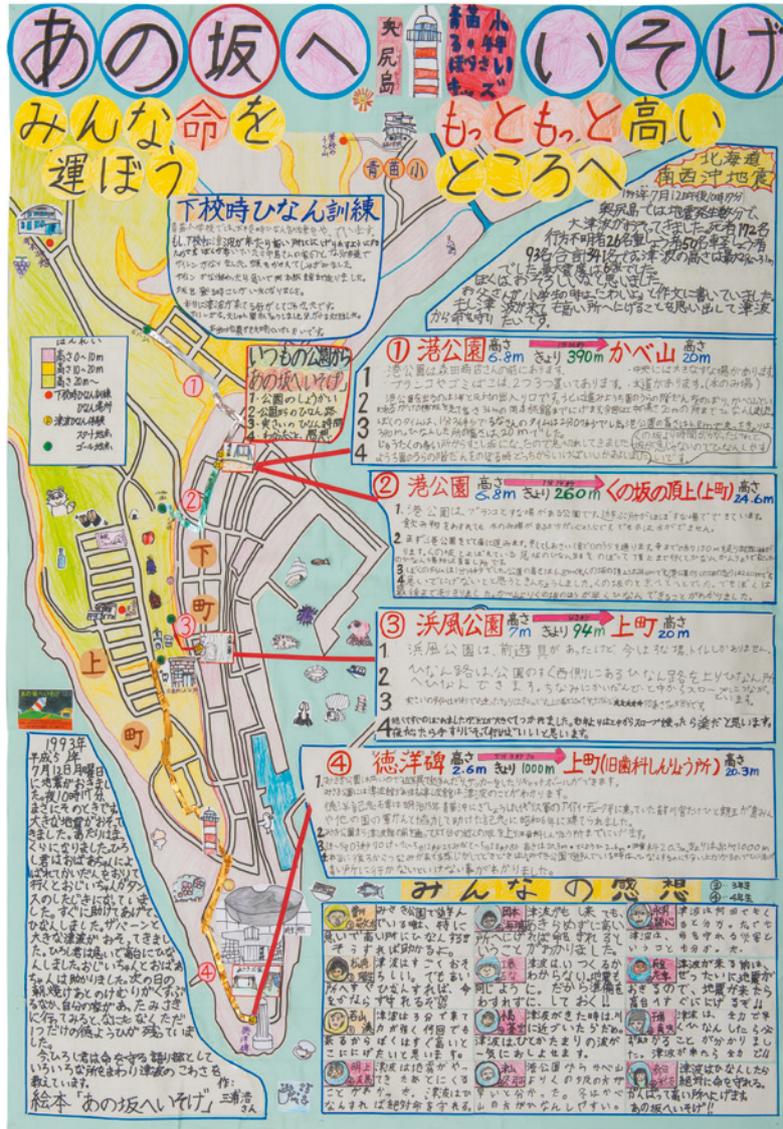
未来へのまちづくり賞

(朝日新聞社賞)

北海道

北海道奥尻町立青苗小学校 「奥尻町 青苗小3・4年 ぼうさいキッズ」

学年	3、4年生	人数	12人	防災
----	-------	----	-----	----



Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

12人で協力して完成しました。賞に選ばれてとてもうれしいです。高さが分かるように色分けし、実際に走って避難した感想を書きました。地震が起きたら津波が来るので、高台に避難することをこれからも忘れずにいます。

指導された 宮内 盛一 さん

南西沖地震から27年。青苗小の防災学習は毎年続いています。今年津波の語り部の三浦浩さん作、絵本「あの坂へいそげ」から、命を守る教訓を学びました。これからももっともっと高い所へ命を運ぶ取組みを続けます。

評価されたポイント

提案性

過去の津波経験から、高台に避難することの重要性を表し、公園から避難所までの距離や時間、避難所の高さに注目している。また、お年寄りはスロープを使った方がよいなどの提案もマップで示している。

教育効果性

津波避難体験を通して、実際に避難することを想像し、その体験を具体的に表現している。まち歩きによる下調べやマップの作成過程を通じて、津波への備えや、避難への意識が高まったことがうかがえる。

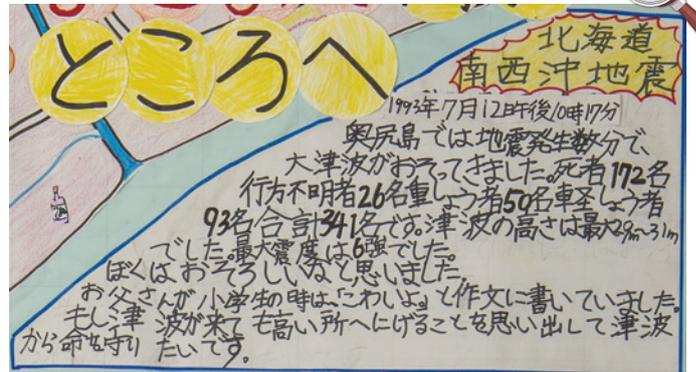
地域性・テーマ性

過去に北海道南西沖地震とそれに伴う津波により大きな被害を受けている地域であり、過去の経験が、小学校の下校時避難訓練に活かされており、その応用として、津波からの避難をテーマにしたマップとなっている。

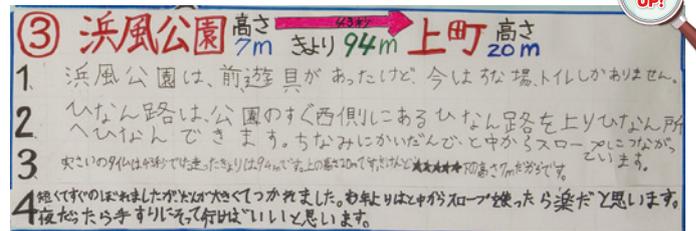
ビジュアル性

信号の色と類似させて地域の高さを色分けすることで、危険な場所・安全な場所が、直感的にわかるように工夫をしている。また、奥尻島ならではの特産品などをイラストで表現することで、親しみやすい楽しいマップとなっている。

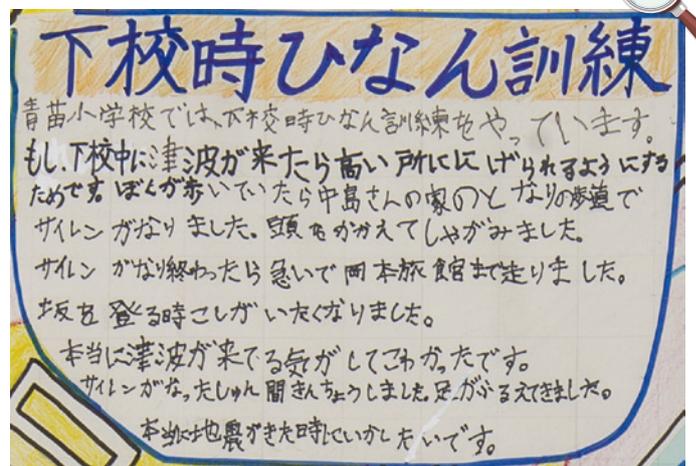
ZOOM UP!



ZOOM UP!



ZOOM UP!





わがまち再発見賞

(日本災害救援ボランティアネットワーク賞)

沖縄県

沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター 「スマイルフラワー」

学年 5、6年生 人数 3人 防災



Voice 喜びの声

チームの児童のみなさん

私達はこれまでの防災活動にプラスして、コロナ感染症にも気をつけながらの避難ルート・備え・行動についてをマップにまとめました。地域のみなさんと一緒に考えたマップで受賞出来て、とても嬉しいです。

指導された 比嘉 菜摘 さん

長年続けてきたマップ作成がこのような素晴らしい賞を受賞することが出来て嬉しく思います。これからも子ども達と共に防災力を高めていながら、地域に発信し続けていきます。協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

評価されたポイント

提案性

コロナ禍での防災という観点から、感染症対策を考えた防災マップとなっている。また、避難について、健常者・バリアフリー向けの2つのルートを検証し、近道が安全だとは限らないことや、健常者は歩き、要配慮者は車で避難することを提言している。

教育効果性

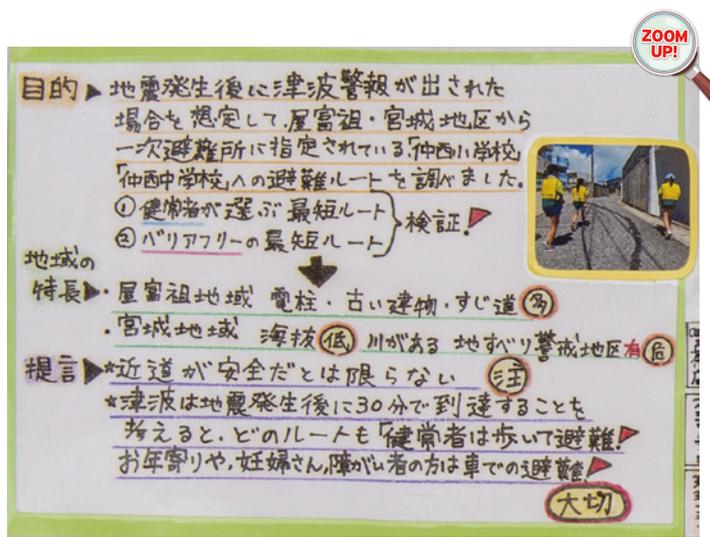
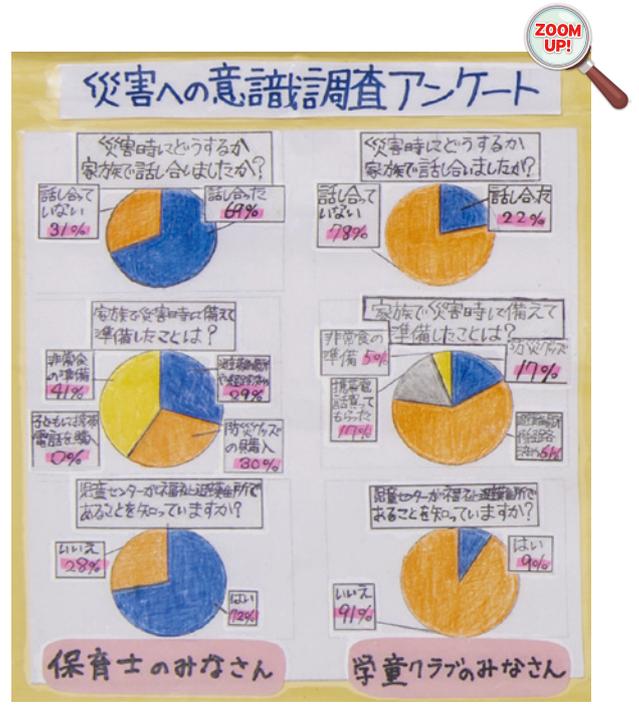
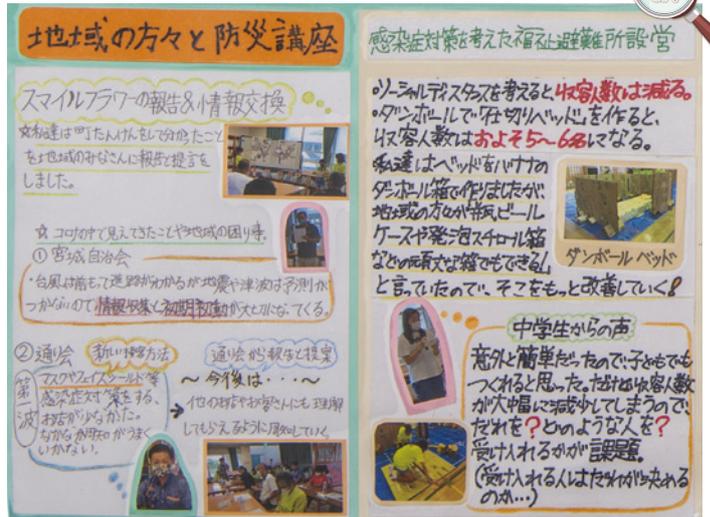
アンケートやインタビューを通して、地域の災害危険や備えについて学習できたことがうかがえる。特に「顔の見える関係づくり」をしておくことで避難にも活かされることに気づき、マップ作成を通じて意識が変化したことがうかがえる。

地域性・テーマ性

昔ながらの住宅密集地であり、高齢者も多いという地域特性を踏まえ、津波からの避難をテーマにしたマップである。バリアフリーの避難経路を調べて減災に役立てるための提言をしている点は、地域全体の防災意識の向上に役立てることができる。

ビジュアル性

モノトーンの地図に、カラフルなマークや避難経路を配色よくデザインし、見やすいマップとなっている。特に健常者・バリアフリー向けの2つのルートを色分けすることで、視覚的にわかりやすくする工夫をしている。





ぼうさい探検隊賞

(日本損害保険協会賞)

福井県

福井県小浜市立雲浜小学校 「雲浜防災マップ作り隊」

学年	3年生	人数	43人	防災・交通安全
----	-----	----	-----	---------



Voice

喜びの声

チームの児童のみなさん

きけんな場所がどこにあるかを地図を作って改めてかくにんすることができました。これからも、災害が起きた時には、命を守るためにどのように行動すると良いかをみんなで考え、日常生活から防災いしきを高めていきたいです。

指導された 正木 啓敬 さん

素晴らしい賞をありがとうございます。災害時、命を守る力を児童に育む為に参加しました。昔の水害や避難場所・避難時間を、児童自ら調査しました。製作後、防災意識の高まりが見られました。貴重な学びの場を与えて頂いて感謝しております。

評価されたポイント

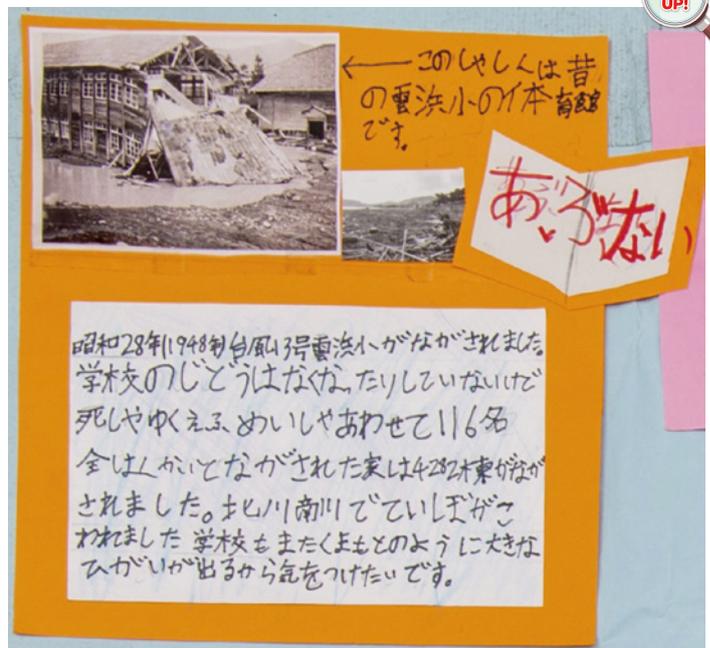
提案性

子ども達の下校時刻に水害が発生したという想定のもとに、地域の課題を学習し、避難場所や持ち物を調べ、登下校時での水害から自分たちを守るという提言を込めたマップとなっている。また、「みんなの命を守るため」子ども達自らがきめた登下校の安全ルールを作り上げている。



教育効果性

過去、子ども達の小学校も水害を受けて流されたことがあるという事実や被害状況を調べることで、住んでいる近辺が水害を受けやすい地域であることを知り、避難までの時間を実際に歩いて計り、危険度を示したマップとなっている。

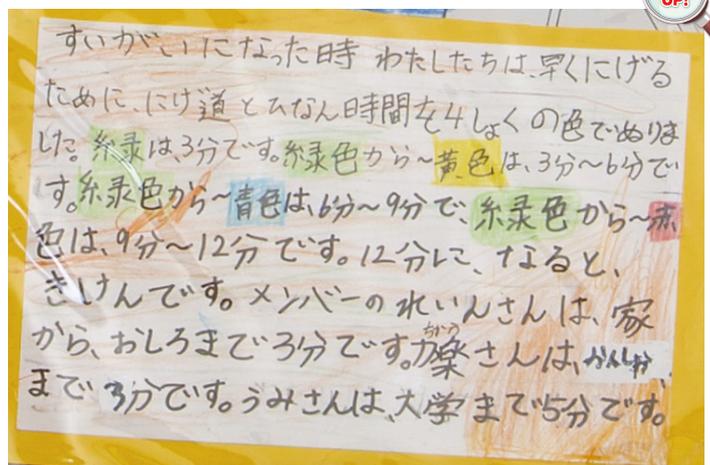


地域性・テーマ性

地域の伝承である小浜城の人柱伝説や、小学校校舎が流出したことについて学び、その結果をマップに表現することで、地域の地盤が脆弱で、河川と海に囲まれた水害の起きやすい土地であることを学んだ様子が見ええる。

ビジュアル性

避難所に徒歩で移動する所要時間を4色で示したり、土地の高さを立体的にすることで、安全な場所を視覚的にわかりやすくしている。さらに、浸水しやすい地域を青色にするなど直感的に避難しなければならない危険な場所を示す工夫をしている。





審査員特別賞

岩手県

学年

4年生

人数

16人

防災

なかさと

中里放課後子ども教室「中里放課後子ども教室」

評価されたポイント



提案性

洪水の危険性を学び、提案を4つ行っている。特に内水排水路の提言を中心にっており、その一つとして、大雨時にはバケツやプールなど身近な物や施設を使い、雨水を溜めて水害のリスクを減らす提言を行っている。

教育効果性

内水排水路や水門・遊水施設など、水害時の重要施設を実際に見学している。その体験をワークショップにて再確認することで、地域の特性や水害被害のリスクを十分に理解し治水対策にも関心を深めることができたことがうかがえる。

地域性・テーマ性

子ども達が北上川・磐井川が合流する地域に生活しているということをしっかりと認識し、洪水時の危険性や対策を学んでいる。さらに、流域全体での取組みが必要なことを学び、一歩踏み込んだ作品となっている。

ビジュアル性

子どもから大人まで皆に治水対策に関心を持ってもらえるよう、まち歩きを通じて学んだ施設などを立体的に作成した模型で表現するとともに、解説文や課題、提案を色分けして地域特性をわかりやすく表現したマップとなっている。

Voice

喜びの声

チームの児童のみなさん

探検から、私たちの地域が洪水常襲地帯の理由や洪水対策(遊水地など)をしていることを学びました。安全に機能できるように内水排水路などの管理も大切なので、このマップを活かし、みんなで力を合わせて活動をしていきます。

指導された 齊藤 裕美 さん

探検する時もマップを作成する時も、子ども達がイキイキと取り組んでいたのが印象的でした。洪水対策の課題解決に活かせるマップになるように、アイデアを出し「立体的なマップ」にするなど、とても精力的だったので楽しく活動できました。

福島県

学年

4年生

人数

9人

防犯・交通安全

西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ「こすもす探検隊」

評価されたポイント



提案性

小学校の教頭先生や警察署へのインタビューを通じて学んだ交通安全の観点から、危険な交差点や、信号がない場所、街灯が少なく防犯上危険な場所など、地元の方への提言を盛り込んだマップとなっている。

教育効果性

ながらスマホがどれくらい危険かや、反射材の効果について確認するなど、実験を通して危険を学んだり、商工会議所へ出向き、免許返納について調べるなどさまざまな学習を行っている。

地域性・テーマ性

交通・防犯上危険な個所や、地域特有の問題であるクマやイノシシなどの野生動物に遭遇した情報を集め、マップに落とし込むことで、地域特有の危険と対処法がわかるマップになっている。

ビジュアル性

信号がなく危険だと感じている交差点に車の模型を設置し、ドライバーや、歩行者の気持ちを吹き出しに書き出すことで、危険性をわかりやすく表現している。また、危険について、クイズ形式で表現することで関心をひくよう工夫している。

Voice

喜びの声

チームの児童のみなさん

みんなで頑張って作ったマップが賞に選ばれたと聞いて嬉しかったです。警察署へ行ったり色々な人へ話を聞きいつも安全だと思っている場所に危険がある事がわかりました。このマップをたくさんの人に見てもらって役に立てたら嬉しいです。

指導された 藤巻 真理 さん

このような素晴らしい賞を頂きまして有り難うございます。マップ作成を通して子ども達は普段何気なく通っていた所に危険がある事、その対処法や交通ルールなどたくさん学ぶ事ができました。ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

神奈川県

学年 1～3,5年生 人数 10人

防災

むかいがおか
公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ
「向丘小学校わくわくプラザ 子どもリーダー」

評価されたポイント



提案性

ひびが入っているブロックや、過去に地すべりが起きた場所、急な斜面など、子ども達の感想を入れることでわかりやすく表現されており、住民が地域の危険を身近に感じられるマップになっている。

教育効果性

昨年の台風被害により近隣地域で土砂崩れが起きていることもあり、危機感をもってまち歩きをすることで、危険度の高いところが多数あることに気づき、身を守る意識が生まれたことが見て取れる。

地域性・テーマ性

子ども達が通う施設は山の高台に位置しており、ハザードマップにも掲載されている土砂災害危険区域が散在しているため、大雨や地震発生時の土砂災害に関するマップ作りは、この地域に根差したテーマとなっている。

ビジュアル性

タブレット端末で作成したマップを、紙に落とし込んだ新しい形のぼうさいマップである。マップに透明シートをかぶせることで、土砂災害危険区域と、その他の情報を分けて、マップを見る人にわかりやすい作品となっている。

Voice

喜びの声

チームの児童のみなさん

夏の暑い中、まち探検へ行ったのは大変だったけど、力を合わせてすごいマップができました。土砂災害が起きても危ないところがわかっているから安心です。賞をもらえるとうわかった時は本当に嬉しくて飛びあがりました！

指導された 吉野 華代 さん

コロナ禍で我慢が多い中、子どもたちが主体的に活動してくれました。夏の暑さにも負けず前向きに協力し合い、土砂災害について調べる姿はたくましく、一人ひとりの真剣な思いが伝わった事を思うと受賞の喜びもひとしおです。

山口県

学年 3年生 人数 4人

交通安全

ガールスカウト山口県第3団「ガールスカウト山口県第3団ブラウニー(3年生)」

評価されたポイント



提案性

「横たん歩道が消えかかっていてぜんぜん見えない！」「駅前のほうち自転車があぶない！」「ちょっとこわすぎる地下道」など、発見したまちの交通安全に関する課題を、子どもの言葉で素直に表現することで、わかりやすい提言となっている。

教育効果性

まち歩きを通して、大人の視点でみると小さく見逃してしまいそうな日常の問題を、子ども達の視点から交通安全上の課題として、道路標識や交通ルールもあわせて学べるマップとなっている。

地域性・テーマ性

小学3年生の視点でまちをじっくり歩き、交通安全や防災の発見を軸とした地域密着型の作品となっている。また、公園や学び・交流プラザについて調べることで、普段から親しみのある場所が避難場所にもなるなどの発見につながっている。

ビジュアル性

手書きの地図やイラストが大きく表現されていて、誰も見やすいマップになっている。また、危険箇所や施設の紹介などを吹き出しにしたり、地域の課題について写真を交えてわかりやすく表現している。

Voice

喜びの声

チームの児童のみなさん

わたしたちは学び・交流プラザの周りを歩いてマップを作りました。審査員特別賞はとてうれしかったです。工夫をしたところは写真をたくさん使ったりイラストをかいているところです。今度は違う場所でもマップを作りたいです。

指導された 松本 弓 さん

山口県は車社会で子ども達が地域を歩く習慣が少ないと感じています。このような活動に参加し、子ども達と地域と一緒に歩き観察することで色々な事が見えました。そして素晴らしい賞まで頂いて嬉しさいっぱいです。

愛媛県

あいなん ふなこし

愛媛県愛南町立船越小学校「船越防災隊」

学年 3、4、6年生

人数

3人

防災

評価されたポイント

提案性

何通りかある避難経路の中で、危険箇所や課題を写真付きで表現することで、被災した地域ごとに柔軟な対応ができることを示している。また備蓄倉庫の多くが、津波浸水域内にあることをマップに示し提言している。

教育効果性

いつもの通学路にある建物も災害時には危険となりうることを実際のまち歩きで調べたり、防災倉庫の見学を通して、災害への備えの重要性を学ぶことで、子ども達自身の意識の向上につながっていることがうかがえる。

地域性・テーマ性

津波被害について予想される高さ17～18m、到達時間16～30分と具体的な数字を大きく示すことで、近い将来起こる可能性のある南海トラフ地震と、それに伴う津波の浸水被害を意識していることがうかがえる。

ビジュアル性

広域図で、津波浸水域をピンク色で示し、まち歩きのエリアを拡大図として表現している。避難経路の写真には子ども達自らが指をさして危険な場所を示しており、わかりやすいマップとなっている。



Voice

喜びの声

チームの児童のみなさん

船越地区の人たちが、すぐに避難できるようにと願って作りました。避難経路はたくさんあるけれど、危険な場所が多いことに気がきました。より安全な避難方法について、家族と話し合うように伝えることができました。

指導された 岸田 幸代 さん

子ども達は、「津波からの避難」をテーマに地域を歩き、自分の目で確かめました。マップ作りを通して子ども達の防災意識が高まり、保護者・地域の意識を高め、災害に対する不安解消に一役を担ったと思います。

高知県

さかわ とかの

高知県佐川町立斗賀野小学校「犠牲者なくそう防災チーム」

学年 6年生

人数

7人

防災

評価されたポイント

提案性

通学路を歩き、写真を使いながら気づいた課題を視覚的にわかりやすく示すと共に、子どもの視点でのメッセージを添えてマップに表現することで、地域の課題や災害への備えの大切さを訴えるマップとなっている。

教育効果性

大雨が降ったら、地震が起きたら、夜だったら、車いすだったらといった、いくつかのパターンを想定してまち歩きを行い、マップを作成することで、災害への備えの大切さに気づくことができていることがうかがえる。

地域性・テーマ性

この地域は過去に災害で大きな被害をうけていないが、改めて防災の視点でまち歩きをすることで、周りが山に囲まれた低い地域であり、洪水や大雨の被害の危険があるといった大きな視点からの気づきをまとめている。

ビジュアル性

全面に手書きで地図を書き、危険・安全な場所を色分けすることで、誰もが見やすいマップとなっている。また、子どもらしいイラストを使って地元の様子を表現することで、見た目にも楽しい作品となっている。



Voice

喜びの声

チームの児童のみなさん

フィールドワークをして、普段通っている場所や身の回りの建物も災害時には危険だと分かりました。完成したマップを見て、学校の周りの自然の多さや、地域の安全を守る設備に気づくことができました。みんなで協力してマップができて達成感がありました。

指導された 吉門 修平 さん

比較的災害の少ない地域で、防災意識が高くない子ども達でしたが、防災マップ作成に向けて積極的に活動できていました。子ども達の発見から疑問が生まれ、専門家の方々に質問し解決できたことが大きな成果となりました。

宮崎県

学年

2年生

人数

23人

防災

社会福祉法人 愛育福祉会 こぼと児童クラブ「こぼと探検隊」



評価されたポイント

提案性

津波からの避難場所とその周辺の危険個所について、地図に色分けしたシールをはることでわかりやすく表現している。まち歩きの中で、気づいた点やその解決アイデアを、写真を使いながらまとめており、見た人の防災意識の向上につながるマップになっている。

教育効果性

「つなみとうたつまで7分。ぼくたちは走れるけど、おじいちゃんたちやほいくえん生はにげれるかな？」などの疑問から、まち歩きを通じて、防災意識を高めることができたことがうかがえる作品である。

地域性・テーマ性

海が近く川に囲まれた地域であり、地震の津波想定地域、水害の浸水地域であるが、マップ作成を通じて、身近な危険を低学年なりにまとめることで、改めて地域全体のさらなる防災意識の向上につながるマップとなっている。

ビジュアル性

疑問や思ったこと・解決策や考えたことを色分けすることで、わかりやすく表現している。また、それぞれの避難所までの所要時間を円グラフで表示し、一目で避難に要する時間がわかるように工夫している。

Voice

喜びの声

チームの児童のみなさん

自分達のまちを見て歩いたら、いろいろな事に気づいて、それをみんなで一生懸命マップにまとめました。賞をとることができてうれしいです。このマップを地域の人達にも見てもらい、あぶない所を知ってもらいたいです。

指導された 内山 泉 さん

子ども達が避難場所まで危険な所を探しながら歩きました。自分達で調べることによって、より地域を知り、防災意識を高めることにつながっています。賞をいただき、とても喜ぶ子ども達の様子を見ることができ、嬉しく思います。

沖縄県

学年

1～4年生

人数

6人

防犯・交通安全

とよさき 豊崎学童クラブ「豊見城安全守りたい」



評価されたポイント

提案性

不審者から身を守る方法として、子ども達がどんな行動をとったらいいかを確認し、警察署や公園管理者にもインタビューをしている。子ども達の遊ぶ声と思われないよう「助けて」とはっきり言うなどの具体的な提案がされている。

教育効果性

こども110番が少ないという気づきから、地域のお店などを訪問し「危険なときに助けを求めにきていいですか?」と確認しながらマークで示すことで、いざという時に助けてくれる場所がたくさんあることに気づくことができています。

地域性・テーマ性

防犯の視点からまち歩きを行いマップにまとめている。特に1ヶ月間にあった不審者の具体的な情報を示し、通学路やでかける時の危険な場所をまとめることで地域の子供達に注意喚起できる作品となっている。

ビジュアル性

鮮やかな付箋や写真を使いながら、調べたこと、感想、提案をまとめることで、視覚的に見やすいマップとなっている。また地図上にはAEDの設置場所など着目してもらいたい部分をマークで示すなど、わかりやすい作品となっている。

Voice

喜びの声

チームの児童のみなさん

店舗を回るのは大変だったけどマップを見れば危険な場所やにげ場所が分かるので安心して過ごす事が出来ます。仲良い6人組で協力して作ったマップが審査員特別賞に選ばれてとてもうれしいです。

指導された 當銘 祐恵 さん

マップ作りを通して子ども達1人1人が防災・防犯に対する意識が高まり危険を予知する力がつきました。コロナ禍での作成は厳しいものではありませんでしたが地域の店舗の方々や沢山の方の協力で受賞する事が嬉しく思います。



デジタルチャレンジ賞

「第17回小学生のぼうさい探検隊マップコンクール」から、新たに「デジタルチャレンジ賞」を新設しました。



「デジタルチャレンジ賞」とは

日本損害保険協会が無償で貸出している「まち探検アプリ」搭載のタブレット端末を、児童が使って探検・マップ作りした作品のなかから、審査によって選出されました。

「まち探検アプリ」とは

普段歩く通学路や避難場所への経路など、道路上の危険な所・安全な所を調べ、タブレットに写真やアイコンをワンタッチで登録できるほか、タブレットには「事前学習の手引き」が搭載されており、簡単にこれまでどおりの学習ができるようになっています。

マップ作成手順

完成!!

事前学習

活動エリアの登録や、事前学習をしよう

フィールドワーク

まち探検を行い、写真撮影等で、ポイント登録をしよう

マップ編集

登録したポイントの確認・編集を行い、マップを完成しよう

発表会

発表モードを使用し、発表会を行おう



宮城県

学年

5年生

人数

5人

防災

かみ せいぶ 加美消防署西部分署「どどんこぱっく」



評価されたポイント

提案性

新型コロナウイルス感染症の影響で、避難所に多くの避難者を受け入れることが難しいことを知り、避難所以外の避難場所として、小学校や公民館・体育館なども調べている。また、コロナ禍における避難施設の訓練を消防署に提案している。

教育効果性

公衆電話からの119番通報体験や、放水体験、段ボールベッドの組立てなどを行い、被災時にどのように役立つかを学んだことが写真からも見て取れる。さまざまな体験から、防災意識と防災行動力の向上に繋がっていることがうかがえる。

地域性・テーマ性

比較的木造建物が密集した地域があるため、「火事」が起きる可能性にも注目し、民家の井戸や消火栓、消火器具などを見つけ、いざというときの備えを学ぶことができた作品となっている。

ビジュアル性

災害時に無料で使える公衆電話のかけ方や、段ボールベッド・放水などの体験が、写真とコメントでわかりやすく表現されている。

Voice 喜びの声

チームの児童のみなさまからのコメント

受賞できて、とてもうれしいです。いつも住んでいる地域を探検して、いろいろな防災に役立つ場所や危険な場所のマップが作れてよかったです。これからも防災意識を高め、宮崎町の安心・安全のための情報を発信していきたいです。

指導された 横田 裕輔 さん

今回このような賞をいただき、とても喜びを感じています。これを機に子ども達が地域防災に興味を持ち成長していただければ幸いです。コロナ感染対策をとりながらの防災探検を今後の糧にして将来の防災リーダーを期待しています。

神奈川県

学年

3～6年生、中学1年生

人数

5人

防災・防犯

じーす か な が わ
ガールスカウト神奈川県第53団「GS KANAGAWA 53」



評価されたポイント

提案性

まち歩きをすることで、地域に「いつき避難場所」は多いが、防災倉庫が少ないことに気づいたり、備蓄は住民全員分用意されているわけではないので、各自が用意することの必要性を訴えている。

教育効果性

ボランティアの人へのインタビューを通して、自治会で避難訓練を行っていることを知ると同時に、ボランティアの人が高齢化していることで若い世代の力の必要性を感じ「私たちにもできることをやっていきたい」と、共助の意識が芽生えていることがうかがえる。

地域性・テーマ性

急斜面やがけなど、地域特有の危険があることを知り、災害時に役立つ案内板や防災倉庫などについて学んでいる。また建物ごとに雨水調整池があることに新たに気づくことができている。

ビジュアル性

コメントに何を撮影したのかだけでなく、安全であれば「誰のために役立つか」「何のためにあるか」、危険であれば「どこが危険で」「なぜ危険か」についてのコメントがあり、子ども達自身の感想や提言が伝わるマップとなっている。

Voice
 喜びの声

チームの児童のみなさまからのコメント

今回、初めてタブレットを使ってマップ作り挑戦し、デジタルチャレンジ賞に選ばれてとても嬉しいです。地域のポイントを写真と文字でまとめることは難しかったけれどやりがいがありました。最後まであきらめずに良かったです。

指導された 外山 薫 さん

新しい事への取組みに大人の方が戸惑いもありましたが子ども達は粘り強くチャレンジしました。デジタル機器を使い臨場感を持って災害に向き合う事が今後求められる中、今回の入選は励みになります。有難うございました。

三重県

学年

1～6年生

人数

10人

交通安全

と ば あ ら し ま
鳥羽市安楽島子ども会「安楽島キッズ探検隊」



評価されたポイント

提案性

子ども達の通学路について、見通しが悪い場所でのバス運行時の注意点や、横断歩道がない場所での渡り方を提案している。

教育効果性

まち歩きを通じて地域の人が見守ってくれている場所が多くあることがわかり、感謝の気持ちが芽生えていることがうかがえる。また、登下校時に地震が起きた時の避難場所を確認することで、防災についても学んでいる。

地域性・テーマ性

撮影された写真から、通学路はガードレールがなく白線で仕切られただけで、子ども達が注意して通学をしなくてはならない地域であることがわかる。また、津波の被害が想定される地域のため、注意しなければならないことや避難方法まで盛り込まれている。

ビジュアル性

マップとしてのクオリティも高く、子どもらしいコメントも良い。例えば信号機のない横断歩道で、横断するときは「手をあげて、さらに運転手さんと目が合ってから渡ること」など自らの視点で具体的に提案し、安全な横断方法を伝えている。

Voice
 喜びの声

チームの児童のみなさまからのコメント

タブレットを使って探検がやりやすかったです。毎日通る通学路だけけど、知らないこともたくさんあっていろいろなことを学べました。危険なところも多かったけど、まちの人たちに見守られて安全に通学できてうれしいです。

指導された 濱口 敬司 さん

コロナ禍で中止の声が出ていたので、タブレットを使うことで十六年目のぼうさい探検ができました。また、色々な面で負担が少なく良かったです。子ども達は、まちの人に見守られていることを今回のまち歩きで感じっていました。

徳島県

学年

3年生

人数

3人

防災

徳島県阿南市立橋小学校「ぼうさいさんぽ3班」



評価されたポイント

提案性

海沿いの通学路を登下校していることから、過去に津波で大きな被害があったポイントや、高台に逃げられる安全なポイントを伝えることで、まちへの提言を行っている。

教育効果性

インタビューや神社にある石碑で、津波の被害で浸水した高さを確認することで、過去に何度も地震・津波の被害を受けてきた町のことを知り、災害から身を守ることなどの思いを持つことができたことがうかがえる。

地域性・テーマ性

地域の危険箇所をまとめることで、海沿いの通学路がいかに危険か視覚的に見て取れるマップになっている。また、海のすぐ近くに山や斜面が迫っており、津波以外にげけ崩れなどの危険がある地域であることも見て取ることができる。

ビジュアル性

現在の写真に過去の災害の状況を照らし合わせコメントを入れたり、マンションの垂直避難で3階以上であれば助かる可能性があるなど、具体的な数字を入れることで、減災の行動をわかりやすく示している。

Voice

チームの児童のみなさまからのコメント

すばらしい賞をありがとうございます。毎日歩く通学路も、探検してみると多くの発見がありました。昔の津波被害を教えてくれる石碑から、困難に負けずに頑張ってきた先人のことも分かり、みんなで命を守っていきたいと思いました。

指導された 山本 栄 さん

思いがけない受賞で驚いています。子ども達はまち探検で危険な所・安全な所だけでなく、まちの良さや歴史・人々の思いを知ることができ、郷土愛や防災意識が深まりました。課題意識をもって地図を作成し、有意義な活動となりました。

沖縄県

学年

3年生

人数

7人

防災・防犯

豊見城市なないろ児童クラブ「なないろキングス」



評価されたポイント

提案性

災害危険エリアの石垣では「災害の時には石垣側は歩かないように」と子ども達からのアドバイスがなされている。

教育効果性

コメントにある「地域の地図の確認」や「高台」の存在は、いざというときにどこが危険で、どこが安全かを知るきっかけになったと思われる。マップ作成を通じて、子ども達の日常会話で自然と防災の話が出たことで、防災意識の向上がうかがえる。

地域性・テーマ性

海沿いの地域ということから、地震発生時の津波被害に注目し、安全なポイントと危険なポイントを整理しているだけではなく、高台がすぐ近くにあることで、地震発生時には急な斜面にある石垣が崩れるかもしれないという二次災害までを想定したマップとなっている。

ビジュアル性

まち歩きをして気づいたことを、複数の写真を使うことで、安全や危険を視覚的に示し、低学年らしい作品となっている。また、防災課の方に備蓄倉庫を案内してもらい、食糧の保存年数や、どこで倉庫のカギを管理しているかなどコメントでわかりやすく伝えている。

Voice

チームの児童のみなさまからのコメント

受賞したと聞いてびっくりして嬉しかったです。3年生だけで初めてマップ作りに挑戦しました。色々な所の写真を撮りながら、その場所の特徴や危険な所について、たくさん考えました。このマップが家族や友達の命を守る事につながってほしいです。

指導された 金城 有希 さん

地域の方々のご協力の中、子ども達は多くの情報を学び防災についての理解を深める事が出来ました。危険を知る事で命を守る為の行動の仕方を考えるキッカケとなり、子ども達の頑張りや伝えたい思いが受賞へと繋がった事を嬉しく思います。

応募状況

表中の青文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・デジタルチャレンジ賞5作品・佳作50作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
北海道	14	64	247	北海道札幌市立白石小学校／北海道別海町立上春別小学校／北海道根室市立成央小学校／北海道奥尻町立青苗小学校／北海道苫小牧市立苫小牧西小学校／北海道札幌南区川沿少年消防クラブ／ハツキタ Fire 6／北海道厚真町立上厚真小学校／泉小ぼうさいキッズ／釧路キッズ探検隊／柏木ぼうさいガールズ／東光探検隊／ごりようかく探検隊／もみじ台少年消防クラブ
青森	6	30	210	社会福祉法人 真会 弘前市西部児童センター／青森県八戸市立町畑小学校／青森県八戸市立八戸小学校／青森県青森市立千刈小学校／青森県弘前市立桔梗野小学校
岩手	5	7	60	岩手県紫波町立水分小学校／岩手県紫波町立星山小学校／中里放課後子ども教室／川口探検隊／岩手県盛岡市立厨川小学校 境田町子供会
宮城	5	14	61	加美消防署西部分署／宮城県石巻市立北村小学校／宮城県仙台市立郡山小学校／FIVEブルーベリー／仙台市福住町町内会
秋田	2	13	88	秋田県男鹿市立船川第一小学校／秋田県秋田市立八橋小学校
山形	4	29	61	山形県酒田市立若浜小学校／まいぜんキッズ／YS危険探検隊／キキキキ☆キッズ
福島	5	5	38	菅野ファミリー／福島県相馬市川原町児童センター／西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ／相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ／Og uキッズ
茨城	7	15	166	Kids Creation Afterschool／茨城県水戸市立大場小学校／やちよエコクラブ／茨城県久慈郡大子町立上小川小学校／大野小学校 野木崎地区探検隊／ボーイスカウトつくば第3団ビーバースカウト隊／見川探検隊
栃木	3	13	87	さくらエルマー学童くらぶ／菊沢きずなプロジェクト／日本ボーイスカウト栃木県連盟 鹿沼第4団 カブ隊
群馬	8	8	45	群馬県高崎市立六郷小学校 ぼうさい探検隊／群馬県渋川市立渋川南小学校／今里兄弟／鷲宮子ども会／上間仁田防災キッズ／上耕地子ども会／上平後小峰／中野谷子ども会
埼玉	6	11	43	ボーイスカウトさいたま104団カブ隊／ギニアこころのクリニックとおむすびの会／川口市立 戸塚児童センター あすばる／ガールスカウト埼玉4団／ガールスカウト埼玉49団／岩崎探検隊
千葉	8	62	365	千葉県市原市立青葉台小学校／千葉県茂原市立中の島小学校／千葉県市川市立稲越小学校／千葉県いすみ市立大原小学校／千葉県印西市立大森小学校／千葉県睦沢町立睦沢小学校／千葉県山武郡横芝光町立光小学校／ガールスカウト千葉県第26団
東京	18	196	1051	東京都港区立御成門小学校／港区立港南子ども中高生プラザ／東京都町田市立南つくし野小学校／東京都板橋区立高島第五小学校／狛江消防少年団／東京都江戸川区立西小岩小学校／東京都東大和市立第八小学校／高井戸小学校ファミリー会／家族 De探検隊 高橋家／布田6丁目探検隊／北砂探検隊／品川消防少年団／RINA & NANA／東京都府中市立府中第二小学校／東京都足立区立西新井小学校／ガールスカウト東京都連盟第126団ブラウニー／下赤塚ぼうさい探検隊／東京都江戸川区立新堀小学校
神奈川	25	28	136	チーム草原／カエルチーム／ラーメン丸チーム／かけっこチーム／チーム先黒／チーム光が丘／チームコムコム／チーム武小／チーム日応／チーム菊名／チーム東～白／チーム横浜港／チーム赤レンガ／チーム湘南／吉川チーム／公益財団法人かわさき市民活動センター 三田こども文化センター／公益財団法人かわさき市民活動センター 向丘小学校わくわくプラザ／あおば探検隊／元街探検隊／ガールスカウト神奈川県第53団／神奈川県茅ヶ崎市香川第2児童クラブ(みずたまクラブ)／麻生こども文化センター／麻生小学校わくわくプラザ／川崎市榎形こども文化センター／ガールスカウト神奈川県第18団ジュニア
新潟	2	3	8	塩沢金城わかば児童館／濁川小学校ぼうさい探検隊
富山	1	1	2	四つ葉キッズ

応募状況

表中の青文字は、入賞9作品・審査員特別賞8作品・デジタルチャレンジ賞5作品・佳作50作品のいずれかに該当する小学校・団体です。

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
石川	8	9	56	にこにこクラブ／助け合うひかり／安田探検隊／かほく市子ども会 七塚支部 外日角子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 木津よつば子ども会／かほく市子ども会 七塚支部 松浜みどり子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 横山子ども会／かほく市子ども会 宇ノ気支部 指江子ども会
福井	4	4	50	福井県小浜市立雲浜小学校／安全隊かわちゃん／あわたべぼうさいたんけんたい／上戸口町ぼうさいしまい
山梨	3	3	15	ボーイスカウト山梨連盟 富士吉田第一団 ビーバー隊／YMIK／子供クラブやまなし
長野	7	9	48	通学路安全守り隊／長野県松本市 島内子ども会育成会／いなりやま防災探検隊／寿台ぼうさい探検隊／車から命を守る隊／上野探検隊／安曇野防犯協会連合会
岐阜	3	4	7	大嶽探検隊／防災減災探検隊プロジェクトX／ボーイスカウト犬山第5団カブ隊
静岡	5	26	57	ヒロタニブラザーズ／静岡県掛川市立大淵小学校／ガールスカウト静岡県第24団／ガールスカウト静岡県第34団／与一子供クラブ
愛知	11	18	110	愛知県豊田市立足助小学校／純真ツインズ探検隊／正木 KIDS FIRE GUARD／名古屋教会幼稚園 学童保育「はこぶね」／ボーイスカウト名古屋第11団カブスカウト隊／日本ボーイスカウト愛知連盟 名古屋第31団／ボーイスカウト大府第3団カブ隊／ボーイスカウト愛知連盟豊田第1団 豊田第39団／ボーイスカウト東海3団カブ隊／平手北キッズ／松竹探検隊
三重	7	24	111	三重県名張市立美旗小学校／三重県四日市市立八郷西小学校／マッシモブラザーズ／松阪五月キッズ／北川家／鳥羽市安楽島子ども会／有緝キッズ
滋賀	6	25	219	滋賀県大津市立仰木の里小学校／滋賀県日野町立桜谷小学校／旭森ぼうさいキッズ／新旭南なかよし探検隊／のびっ子渋川／のびっ子笠縫東
京都	4	4	10	京都朱六キッズ／K探検隊／森田探検隊／橋本キッズ
大阪	8	53	182	ガールスカウト大阪府第21団／大阪府大阪市立城北小学校／大阪府大阪市立三軒家東小学校／大阪府豊中市立庄内小学校／ルッキーズ／西山本探検隊／池田下探検隊／貝塚小瀬こども会
兵庫	6	8	70	であいアフタースクール／御影探検隊／潮見台町探検隊／高津橋学童クラブ／兵庫県洲本市立由良小学校／兵庫県三木市立口吉川小学校
奈良	5	7	19	日本ボーイスカウト奈良県連盟 大和郡山第1団 カブスカウト隊／ボーイスカウト奈良県連盟葛城地区 大和高田第9団／あやめ池少年団／佐紀町こども会／安全見守りボーイズ
和歌山	7	26	151	朝日会／和歌山県有田郡広川町立広小学校／紀州レンジャーズ～絆キッズ～／和歌山県有田郡有田川町立小川小学校／和歌山県新宮市立三輪崎小学校／和歌山県すさみ町立周参見小学校 高学年／黒江こども会
鳥取	3	3	8	坂口キッズ／殿ちびっこ探検隊／住吉キッズ
島根	3	4	11	石西防災研究所上市ぼうさい探検隊／アmenaカ探検隊／島根県松江市 くもづっ子クラブ
岡山	4	12	78	岡山県津山市立広戸小学校／岡山県岡山市立宇野小学校 原尾島チーム／YMCAせとうち グローバルアフタースクール／西大寺探検隊

都道府県	応募団体数	応募作品数	児童数	学校・団体名
広島	5	10	51	府中町少年少女消防クラブ／広島県呉市立安登小学校／五日市ジュニアラグビースクール大野ぼうさい探検隊／てるたんけんたい／広島県坂町立小屋浦小学校
山口	5	19	81	山口県下関市立向井小学校／山口県宇部市立新川小学校 新川ガールズたんけん隊／山口県周南市立夜市小学校／西桜子ども会／ガールスカウト山口県第3団
徳島	8	16	93	藍住探検隊／徳島県鳴門市黒崎小学校／徳島県阿南市立橋小学校／防災ちびっこ消防団／徳島県阿南市立津乃峰小学校／ぼうさい探検隊影山3兄弟／徳島市助任地区なかよし組／大塚ぼうさい探偵団
香川	1	6	35	香川大学ボランティア講座
愛媛	8	12	49	愛媛県西条市立橋小学校／みさけ探検隊／愛媛県愛南町立船越小学校／愛媛県愛南町立緑小学校／けんこうブラザーズ／東雲探検隊／いまり探検隊／愛媛県宇和島市立三浦小学校
高知	8	23	94	高知県高知市立介良小学校／高知県本山町立吉野小学校／旭地区防災食プロジェクト／高知県佐川町立斗賀野小学校／高知県長岡郡本山町立本山小学校／潮江探検隊／児童養護施設 子供の家／南海少年寮
福岡	9	14	77	みなみ探検隊／古前少年消防クラブ／マーケットリンク探検隊／長丘ぼうさい探検隊／もとおか探検隊／みやじ探検隊／直方市青少年育成市民会議／みやけたんけんたい／下地キッズ
佐賀	1	1	3	まつおファミリー
長崎	5	11	158	島原市児童館／長崎県平戸市立根獅子小学校／長崎県長崎市立戸町小学校 戸町学童保育たけのこクラブ／石井ファミリー／千年ファミリー
熊本	5	7	24	『街角の、危険なヒヤリ！ハッと！』探検隊／ひかり児童館少年消防クラブ／熊本県八代市立代陽小学校 本町三丁目子ども会／熊本市東区ぼうさい元気っ子チーム／託麻南校区第2町内子ども会
大分	4	25	99	吉野児童育成クラブ／大分県別府市立大平山小学校／ボラリス児童クラブ／春日町探検隊
宮崎	9	12	69	社会福祉法人 愛育福祉会 こぼと児童クラブ／橿児童センター／社会福祉法人ゆりかご福祉会ゆりかご WEC児童クラブ／宮崎県延岡市立北浦小学校／宮崎南小学校少年消防クラブ／富田ぼうさい探検隊／小松台ぼうさいキッズ／鶴島一松橋探検隊／横市探検 Si隊
鹿児島	4	9	118	鹿児島県鹿児島市立西田小学校／T・Kキッズ／鹿児島県鹿児島市立皆与志小学校／鹿児島県鹿児島市立石谷小学校
沖縄	22	57	338	沖縄県浦添市立うらそえぐすく児童センター／沖縄県南城市立大里南小学校／ゆたか防災キッズ／ひばり放課後児童クラブ／沖縄県浦添市立宮城ヶ原児童センター／壺屋児童館／那覇市若狭児童館／なはっ子チーム／シビックセンター学童クラブ／いしかわ児童館 学童クラブ／那覇市久場川児童館／子供の世界学童クラブ／NPO法人 TANOSHI-KU 交流広場 ハッピーハウス／にしぎき学童クラブ／古蔵っ子探検隊／社会福祉法人ちくば福祉会ちくば学童クラブ／豊崎学童クラブ／豊見城市なないろ児童クラブ／なないろ児童クラブ2／志茂田児童クラブ／安里カズズ／沖縄県宜野湾市立普天間小学校

小学生だけでなく、さまざまな年齢層の方々が主体となって、「参考作品」としてこの活動に参加されています。

過去の入選作品

ぼうさい探検隊マップコンクール入選校・団体(第12回～第16回まで)

※「」内はチーム名です。

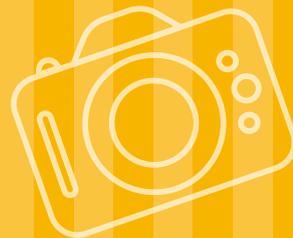
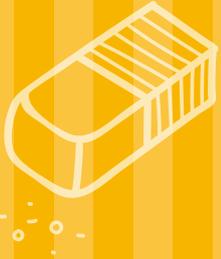
参加団体数マップ数・児童数	第12回(2015年度)588団体(244校・344団体)2,506作品 16,833名	第13回(2016年度)526団体(235校・291団体)2,871作品 19,158名
文部科学大臣賞	愛南町立東海小学校「海っ子セーブ隊」 (5、6年生/愛媛県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (1～6年生/三重県)
防災担当大臣賞	入山防災を学ぼうクラブ 「ひまわり探検隊」 (2、3、5、6年生/和歌山県)	愛南町立中浦小学校 「中浦っ子みんなの命守り隊 尻貝チーム」 (3、5、6年生/愛媛県)
消防庁長官賞	本山町立吉野小学校 「吉野チーム」 (5、6年生/高知県)	本田消防少年団 「本田消防少年団」 (1～6年生/東京都)
まちのぼうさいキッズ賞	下関市立豊浦小学校 「下関維新探検隊」 (1、2、6年生/山口県)	愛南町立家串小学校 「家串スターズ」 (3、4年生/愛媛県)
気象庁長官賞	豊平区月寒少年消防クラブ 「三代目月寒ぼうさい探検隊」 (1、2、4、6年生、中1/北海道)	かほく市子ども会高松支部内高松子ども会 「内高松子ども会」 (6年生/石川県)
キッズリスクアドバイザー賞	かほく市子ども会 宇ノ気支部 狩鹿野子ども会 「狩鹿野子ども会」 (3～6年生/石川県)	富士見キッズ 「青緑チーム」 (3年生/東京都)
未来へのまちづくり賞	愛南町立中浦小学校 「中浦っ子みんなの命守り隊 尻貝チーム」 (4～6年生/愛媛県)	糸満市立糸満南小学校 「糸満っ子ちゅらさん探検隊」 (4、5年生、年中/沖縄県)
わがまち再発見賞	三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」 (1、3、4、6年生/香川県)	札幌南区川沿少年消防クラブ 「みなみっくマ調査隊」 (2～6年生/北海道)
ぼうさい探検隊賞	相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」 (2、3年生/福島県)	亀崎学区少年消防クラブ 「亀崎学区少年消防クラブ」 (3～6年生、年長/広島県)
審査員特別賞	ガールスカウト神奈川第53団 「GS KANAGAWA 53」 (1、3、5、6年生/神奈川県)	相馬市中村第二小学校 放課後児童クラブかもめクラブ 「かもめ防災探検隊」 (3年生/福島県)
	かほく市子ども会 高松支部 岸川町子ども会 「岸川町子供会」 (5、6年生/石川県)	ガールスカウト神奈川第53団 「GS KANAGAWA 53」 (1～4、6年生/神奈川県)
	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (2～6年生/三重県)	かほく市子ども会宇ノ気支部 指江子ども会 「指江子ども会」 (6年生/石川県)
	船越なかよし安全たい 「船越なかよし安全たい」 (1、3年生/島根県)	堺市立東深井小学校 放課後ルーム 「東深井 sister's」 (4～6年生/大阪府)
	緑丘児童クラブ 「SUMMER探検隊」 (5、6年生/岡山県)	かつらぎ町立丁ノ町児童館 「かつらぎ防災ガールズ」 (6年生/和歌山県)
	宇和島市立蔭淵小学校 「高齢者守り隊」 (5、6年生/愛媛県)	串本町立古座小学校 「中湊なかよしたんけんたい」 (4年生/和歌山県)
	座安小見回り探検隊 「座安っこ見回り探検隊」 (1、3～5年生/沖縄県)	三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」 (1～4年生、中1/香川県)
	豊見城市役所前児童クラブ 「琉球 Boys」 (5年生/沖縄県)	愛南町立城辺小学校 「城の辺守り隊7」 (5年生/愛媛県)

第14回 (2017年度) 538団体 (218校・320団体) 2,582作品 16,370名	第15回 (2018年度) 566団体 (271校・295団体) 2,865作品 17,983名	第16回 (2019年度) 594団体 (240校・354団体) 2,541作品 16,492名
坂井市立平章小学校 「平章小学校5年お城チーム」 (5年生/福井県)	南宇和郡愛南町立家串小学校 「家串ドリームチーム」 (5、6年生/愛媛県)	宇和島市立三浦小学校 「防災キッズ TOYOURA 4」 (4、5年生/愛媛県)
三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」 (1～6年生、中2/香川県)	相馬市川原町児童センター 「みつばち防災探検隊」 (3年生/福島県)	かほく市子ども会 高松支部 内高松子ども会 「内高松子ども会」 (6年生/石川県)
札幌市豊平区月寒少年消防クラブ 「月寒ぼうさい探検隊 New Generation」 (2～4、6年生/北海道)	本山町立吉野小学校 「寺家チーム」 (5、6年生/高知県)	豊田市立足助小学校 「足助の安全・安心を守るたんけん隊」 (4年生/愛知県)
富士見キッズ 「チーム4年」 (4年生/東京都)	ガールスカウト奈良県第22団 「ジュニア部門「メジロパトロール」」 (4～6年生/奈良県)	本山町立吉野小学校 「少年少女防災探検隊」 (5、6年生/高知県)
亀崎学区少年消防クラブ 「亀っ子防災探検隊」 (1、3～5年生/広島県)	富士見キッズ 「Chipika」 (2、3年生/東京都)	三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」 (1～6年生/香川県)
学童保育ひまわりクラブ 「ひまっしー隊」 (1、2、4、5年生/静岡県)	三豊市仁尾町児童館 「におっこ清掃探検隊」 (1～6年生/香川県)	岡山市立宇野小学校 原尾島チーム 「宇野小学校 原尾島チーム」 (3、5年生、中学1年生/岡山県)
西部子ども公民館放課後児童クラブ こすもすクラブ 「こすもす探検隊」 (3～5年生/福島県)	那覇市立城東小学校 「ちゅらっこ城東」 (6年生/沖縄県)	横浜市立汐見台小学校 「汐見台パトロール隊」 (6年生/神奈川県)
愛南町立家串小学校 「家串カルデット」 (3年生/愛媛県)	愛南町立東海小学校 「東海9」 (2、4～6年生/愛媛県)	北川ブラザーズ 「北川ブラザーズ」 (5年生/三重県)
一関市中里放課後子ども教室 「中里青ぼうし安全探検隊」 (5年生/岩手県)	レンジャー探検隊 「レンジャー探検隊」 (3、5年生/茨城県)	足立区立西新井小学校 「西新井小学校 水色チーム」 (5年生/東京都)
札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿ジュニア山岳隊」 (1～6年生/北海道)	札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来レスキュー隊」 (1～6年生、中学生/北海道)	札幌南区川沿少年消防クラブ 「川沿未来見守り隊」 (1～6年生、中学1、2年生/北海道)
相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブかもめクラブ 「かもめ防災探検隊」 (3年生/福島県)	矢巾町立徳田小学校北郡山子ども会 「北郡山子ども会 1班」 (1～4年生/岩手県)	西部子ども公民館放課後児童クラブこすもすクラブ 「こすもす探検隊」 (4、5年生/福島県)
鹿嶋市立平井小学校 「平井っ子防災クラブ SP」 (4、6年生/茨城県)	新潟市立白山小学校 「白山安全まもり隊」 (3、5年生/新潟県)	富士見キッズ 「Chipika」 (3、4年生/東京都)
ガールスカウト神奈川県第53団 「GS KANAGAWA 53」 (2、3、5年生、年長/神奈川県)	横浜市立汐見台小学校 「汐見台パトロール隊」 (5年生/神奈川県)	松本市 島内子ども会育成会 「チームしまうちっ子」 (3～6年生/長野県)
鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (1～6年生/三重県)	加賀市立金明小学校 「金明安全・安心守り隊」 (4年生/石川県)	阿南市立津乃峰小学校 「つのみね小3年生」 (3年生/徳島県)
愛南町立東海小学校 「東海14」 (1、3～6年生/愛媛県)	かほく市子ども会 宇ノ気支部 内日角子ども会 「内日角キッズポリス」 (6年生/石川県)	『街角の、危険なヒヤリ!ハット!』探検隊 『街角の、危険なヒヤリ!ハット!』探検隊 (4年生/熊本県)
浦添市立 宮城っ子児童センター 「みやぎっこパトロールたい」 (1～3年生、年長/沖縄県)	鳥羽市安楽島子ども会 「安楽島キッズ探検隊」 (1、3～6年生、年中、年長/三重県)	豊見城市なないろ児童クラブ2 「ウォーターZグループ」 (3、4年生/沖縄県)
糸満市立 糸満南小学校・糸満南幼稚園 「糸満南っ子ちゅらさん探検隊」 (4～6年生、年長/沖縄県)	京都市葵児童館学童クラブ3～6年生・京都府立洛北高校生徒会 「葵児童館安全探検隊」 (3～6年生、高校生/京都府)	豊崎学童クラブ 「とよさきこうえんまもりたい」 (1、2年生/沖縄県)

これまでの17年間のマップコンクールにおいて、継続的にご応募いただいている小学校・団体(17回のうち11回以上のご参加)は以下のとおりです。

応募回数	学校・団体名
17回連続	愛知県豊田市立足助小学校
16回	福島県相馬市川原町児童センター／東京都江戸川区立西小岩小学校／ 鳥羽市安楽島子ども会
15回	ガールスカウト大阪府第21団
14回	岩手県盛岡市南仙北二・三丁目町内会 子ども会／ ガールスカウト神奈川県第53団／ガールスカウト静岡県第34団／ 府中町少年少女消防クラブ
13回	東京都江戸川区立第六葛西小学校／東京都大田区立洗足池小学校／ 正木 KIDS FIRE GUARD／高知県高岡郡四万十町立興津小学校／ 社会福祉法人ゆりかご福祉会ゆりかごWEC児童クラブ
12回	岩手県紫波町立水分小学校／ 日本ボーイスカウト栃木県連盟 鹿沼第4団 カブ隊／ 麴町小学校 ワーク・わく・クラブ／ ボーイスカウト山梨連盟 富士吉田第一団 ビーバー隊
11回	相馬市立中村第二小学校 放課後児童クラブ かもめクラブ／ 神奈川県横浜市保土ヶ谷区青少年指導員協議会 岩井町原地区／ 安曇野防犯協会連合会／かもっこ放課後子ども教室／ 兵庫県三木市立口吉川小学校／那覇市久場川児童館

今後もぜひ、定期的・継続的な活動として取り組んでいただければ幸いです。





一般社団法人 日本損害保険協会 会員会社一覧

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
アイペット損害保険株式会社
アクサ損害保険株式会社
アニコム損害保険株式会社
イーデザイン損害保険株式会社
A I G 損害保険株式会社
エイチ・エス損害保険株式会社
S B I 損害保険株式会社
a u 損害保険株式会社
共栄火災海上保険株式会社

さくら損害保険株式会社
ジェイアイ傷害火災保険株式会社
セコム損害保険株式会社
セゾン自動車火災保険株式会社
ソニー損害保険株式会社
損害保険ジャパン株式会社
大同火災海上保険株式会社
東京海上日動火災保険株式会社
トーア再保険株式会社
日新火災海上保険株式会社

日本地震再保険株式会社
日立キャピタル損害保険株式会社
ペット&ファミリー損害保険株式会社
三井住友海上火災保険株式会社
三井ダイレクト損害保険株式会社
明治安田損害保険株式会社
楽天損害保険株式会社
レスキュー損害保険株式会社

2021年1月現在(会員会社28社 50音順)

一般社団法人 **日本損害保険協会** 〒101-8335 東京都千代田区神田淡路町2-9 URL <https://www.sonpo.or.jp/>
業務企画部 啓発・教育グループ TEL : 03-3255-1215 FAX : 03-3255-1236